



# 同窓会報



◆発行◆宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎022-221-5651(直通)  
 ◆Eメール◆info@sendainiko-dousoukai.com ◆URL◆http://www.sendainiko-dousoukai.com  
 ◆印刷◆創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎022-222-0181

## 第56号



令和5年度大運動会のおり、8組それぞれ趣向を凝らした立看板を制作している。そのうちの8組の「フェニックス(鳳凰)」を描いたと思われる立看板。

### 目次

巻頭言・佐藤一郎会長「咲きほこる櫻花」……………	2
回想録・大井龍司名誉会長「得難きは高校同期生」……………	4
高橋賢校長「二年目の展望」……………	5
寄稿 千田耕一副会長「恩師逝く」……………	5
寄稿 鈴木武関西支部長「甲子園出場」……………	6
支部総会・同期会報告……………	8
二〇二三年度年間行事予定、 総会報告、理事会からのお知らせ……………	11
二〇二二年度評議員会報告 一般・特別会計二〇二二年度年度収支決算、 二〇二三年度年度予算報告……………	12
会費納入について……………	14
二〇二二年度同窓会入会式、卒業式、 二〇二三年度入学式報告……………	15
大運動会報告、囲碁部大会報告、寄贈図書 二〇二三年度創立記念日 平朝彦講演会(東海大学海洋研究所長)……………	17
二〇二三年度同窓会総会のご案内、PT同懇談会のご案内……………	18
仙台二高・過去三年間の大学入試合格状況……………	20
仙台二高・部活動の記録……………	21
二〇二三年度定期戦、ゴルフ対抗戦・叙勲受賞者……………	27
会員計報……………	28
支部・OB会連絡先、評議員名簿、理事名簿……………	29
今春の人事異動、Webサイト活性化、 およびマーケティングリスト 「再登録」のお願い、交通の便、編集後記……………	32

巻頭言

「咲きほこる桜花」

旧仙台二中・仙台二高同窓会会長

佐藤 一郎 (高17回)



はじめに

会長として二年目に入りました。令和四年度の評議会、総会とも、コロナ禍により、規模を縮小して開催できました。今春を迎え、コロナ禍も落ち着き、今年度はできるかぎり通常通りに復し、同窓会活動をさらに活性化していきたいと考えています。

五月一日(月)創立記念日には、二高講堂にて、平朝彦(高17回)東京大学名誉教授が、日本列島の生成と地震に関する学問研究の成果について講演しました。

六月一〇日(土)江陽グランドホテルにて「卒業生歓迎会」を開催し、若手同窓会員との交流を図ります。星野誠(高53回、TBC天気予報士)、秩父絵里(高63回、パークリ音楽大学首席卒業、作曲家)のお二人を、ゲストとして

迎えます。

七月一日(土)江陽グランドホテルにて「同窓会総会」が開催予定。小田中直樹(高34回、東北大学経済学部教授)が講演します。

九月二、三日(土、日)の北陵祭に、同窓会ブースを設置します。

来年、一月六日(土)江陽グランドホテルにて「PTA同窓会新年合同懇親会」が開催されます。高74回卒業生の二〇歳を祝う会をも兼ねる予定です。

令和四年度同窓会理事會報告

一、「同窓会総会」(七月二日(土))は、江陽グランドホテルで開催され、島田淳(高33回)在京同窓会幹事にリモート中継のサポートをしていただきました。

印度カレリー(齊藤柚里、高67回)さんが「スパイスカレリーの魅力!」と題して、「なぜインドカレリーの仕事を起業するに至ったのか」を、二高時代から現在までの自分史を加えて講演し、興味深く拝聴できました。

鈴木武(高20回)第六代関西西北陵会会長に来賓として出席していただきました。鈴木さんは、麻喜

宏雄関西西北陵会前会長から「昭和三一年八月の思い出」をヒアリングして、文章にまとめています。今回、同窓会会報に掲載することにいたしました。

二、「愛知揆一(中25回)銅像を母校である仙台二高に移転してはどうか」と、同窓会理事会に打診があり、協議の結果、仙台二高および宮城県教育委員会の意向を尊重すると、後藤順一(高33回)前校長、新任の高橋賢(高35回)仙台二高校長に伝えました。

七月の総会後の経緯は、同窓会が寄贈の受け皿になる方向で進展し、八月一七日の理事会において、愛知揆一福祉振興会から「愛知揆一先生銅像の移転に関する経緯について」文書とともに、具体的な設置場所を含めて説明を受けました。仙台二高そのものではなく、同窓会が寄贈の受け皿ということであれば、同窓会のみなさんに承じていただくためには、その理由書の作成が必要であろうということになりました。

秋口になり、高橋校長から、PTA、教育委員会との協議をも踏まえて、移転は一時中止にしたいと報告を受け、同窓会として了承しました。

三、「同窓会入会式」(二月二八日(火)午前十時)が挙行され、小野寺満明(高23回)副会長より、「同窓会活動とその歩み」と題するパワーポイントによる説明があり、

令和四年度(高75回)の、評議員(高橋慧多、小林彩花)、常任委員(高橋慧多、櫻井新大、小林彩花、戸井理道、福島結太、福地理史、浜崎優太、安藤葵)に、同窓会会長から委嘱状が手渡されました。

なお、令和四年度の大学合格者数は、東京大学は七名。そのうち一名は野球部に入学したと聞きました。二年生の酒井捷(高74回)右翼手は、東京六大学春季リーグ戦において、好調を維持し、早稲田大学エースよりホームランを放っています。

東北大医学部一四名、国公立医学科四一名、私立医学科二四合格。東北大は七六名と聞きました。

四、「卒業式」(三月一日(水)午前十時)が挙行され、女性生徒の色鮮やかな和装の出立が眩しく、華やかでした。一組から八組まで、一人ひとりが「はい」と言って起立し、その声が響き渡ります。各組代表の生徒に校長から卒業証書が授与されました。式辞、祝辞の終了後、突然、応援団長が登壇し、生徒全員が「雨か嵐か」を唱和し、上下に動かす拍手も素敵でした。

五、「入学式」(四月一〇日午後一時)が挙行され、同窓会長、副会長三名、PTA会長ら保護者役員も来賓として、同席。また、六〇〇名を超える保護者の方々も後方に参列され、講堂は満杯。最後方に控えたブラスバンドが、国歌、校歌斉唱時に演奏し、彩りを

供えた形態になりました。生徒合唱団による校歌斉唱の歌声に感動しました。高橋賢校長の式辞、新入生代表宣誓、祝辞と続きました。

六、谷口秀樹理事と宮内昭穂理事は退任、横山正宣(高38回)、利大作(高41回)の両氏が理事に就任しました。新たに、小野寺満明理事(高23回、活性化統括)が副会長に就任、千田耕一副会長(高23回、会報統括)、内藤喜人仁(高44回)会計監事は、再任。

同窓会会長「入学式」祝辞

「宮城県における、新型コロナウイルスによる感染拡大は落ち着いてきたように見受けられます。このような状況のもと、宮城県仙台第二高等学校における、令和五年度、第七八回、入学式が、ここ講堂において、無事挙行されることとなりました。

栄えある今日を迎えた新入生は、男子一七七名、女子一四三名、合計三二〇名とお聞きしております。宮城県仙台第二高等学校同窓会を代表いたしまして、新入生の皆さんにお祝いを申し上げますと共に、今日を待っておられた保護者の方々に対しても衷心よりお祝い申し上げます。

桜花満開の季節、仙台二高の桜花も今まさに盛りと華麗な姿を見せておりましたが、花吹雪となつて散っております。最近、ゆえあつて、桜花を題材とした絵葉書の依

頼を受けて、満開の桜を鉛筆と水彩絵具で原画を描きました。(本頁図版参照) 満開の桜花はきらびやかで豪華であり、「繁栄」を象徴しているのではないかと。そのような思いで制作しました。

『古事記』では、木花之佐久夜毘売という「繁栄」と「限られた命」を象徴する女神が登場する神話があります。そうなのです。桜花は、華やかですが、脆く、はかなく、その命は短いのです。

『記紀』『万葉集』の研究者であり、「令和」という年号の発案者である中西進さんは、『古事記をよむ②―天降った神々と』のなかで「木花之佐久夜夜毘売の「木花」は何の木とも語られないが、古代人は桜をもって咲くものの代表と考えていた。桜の花は、人々に落花の紛れを感じさせる。すでに桜の咲いている姿の中に、人々は散る影を感じ取る。そうした桜を見る目がこの話を支えているといえよう。」と述べています。

花が「咲く」という言葉から生まれた唯一の花である「桜花」は、「華やかさ、美しさ」生(生きるエネルギー)と「限りある、消えさる」死(メメント・モリ)とを、併せ持つ花として『古事記、万葉集』の時代から現代まで、伝統的「日本の美意識」として認識されてきたのでしょうか。

「桜花」といえば、わたくしにも色々と思ひ出があります。

小学一年生の春、青葉の山、青葉城址へ、花見で登りました。現在の仙台二高と宮城県美術館の交差点には、金網が張りめぐされたゲートがあり、アメリカ兵MPが開けて、通してくれました。

二高生となって、それまで進駐軍のプールであった付近が返還され、その南校地には、進駐軍の建物を利用しての図書館と応援団部室があり、空き地もかなり広く、四月中は、対一高定期戦のおりに設置する「出し物」を美術部が総力をあげて制作していました。二年生後半から、わたくしは応援団副団長となり、渡辺幸英団長、錦織有平副団長、館澤真次幹事長を中心として、応援団幹部三十五名ほどが毎日、部室に集まりました。そして、澁橋を渡り、廣瀬の流れに沿う河原で、旗を振り、エールの発声練習を。そこから、またラニンングして川内に戻り、桜花に彩られた亀岡八幡宮の入口から、長い古びた三三五段の石段を走り登り、対一高定期戦での必勝を祈願し、駆け足で降りるのです。昨年の今頃、懐かしさのあまり、亀岡八幡宮を訪れました。染井吉野、枝垂れ桜が咲き乱れ、仙台藩四代藩主伊達綱村以来と思われる古色蒼然とした石段のたたずまいは変わっていませんでした。

また、応援団幹事長であった館沢真次さんは、経済分野のルポライターでしたが、生涯に一冊の

小説『大戦秘史リーツェンの桜！敗戦の地ドイツでチフスと闘い、散った日本人医博・肥沼信次』を著しています。肥沼信次さんは、ベルリン大学での放射線医学の研究者でした。第二次世界大戦後、最悪の環境衛生のため発疹チフスが蔓延し、そのため彼の献身的な医療活動で、多くの人々を救いましたが、しかし、彼自身もチフスにかかり亡くなってしまったのです。死の間際に「日本の桜を見せたい」「日本の桜が見たい」と言い残したそうです。後年、親族が八重桜を当地ヴリーツェン市に寄贈したとのことでした。

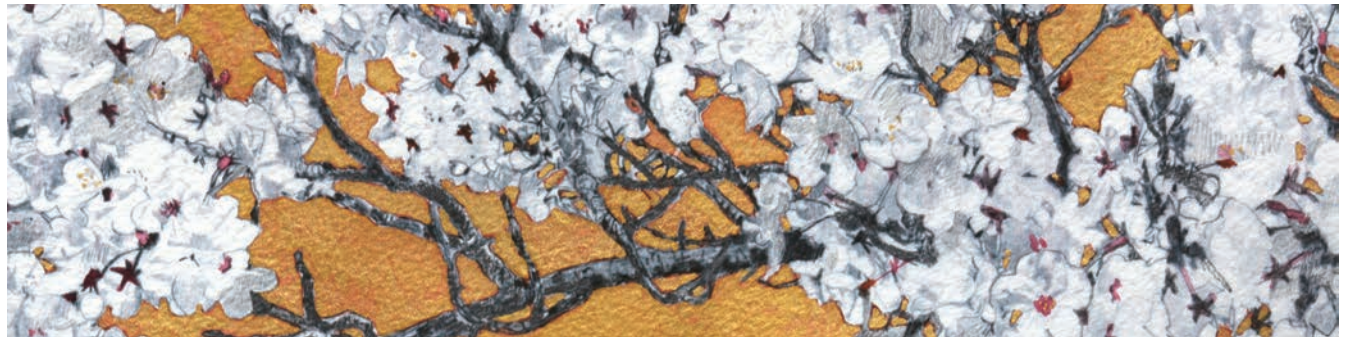
四月一日、東北学院大学シュネーダー記念館の十六階から、大年寺山から八木山への連なりを間近に見ることができました。日本晴れであり、遠く白銀の蔵王山も見えました。そこかしこ「桜花」が咲き誇り、まさに山が笑っているようにも見えました。わたくしも、心が踊り、楽しくなり、喜びの声をあげたくなり、思わず、スマホで撮影してしまいました。現在一般に使われている竹冠の「笑」は、『古事記』などでは「咲」という万葉仮名がもっぱら使われていたそうです。

WBCの中継を見ても、逆転の場面、大きな声、喜びの声をあげ、満ち足りた気分になっている笑顔が、わたくしをも微笑ませてくれ、選手との一体感、親近感がこみあ

げてきたのも事実でした。

仙台二高に入学してきた新入生には、等しく応援練習が課せられていると、聞いております。応援歌を覚え、大きな声で歌わなければいけないのでしょうか。応援練習を積み重ね、試合で応援すると、きっと満ち足りた気分が、そして仲間としての一体感が醸しだされ、そこに喜びと笑いにみちた空間に包まれます。仙台二高は、生徒のみなさんによる小さな共同体です。おたがいがそれぞれの立場を尊重し、みなさんの多様性を秘めた人格を認め合う場なのです。人と人の会話、コミュニケーションは、微笑み合いながら、共に感じ合い、会話が積み重ねられると仲間としての信頼感が生まれ、この小さな共同体はより活性化するのではないのでしょうか。対一高定期戦の応援の伝統もその現れだろうと思います。わたしたち同窓生にとっても、嬉しいかぎりです。

仙台二高での、これからの三年間、「ともにともに いそしまわ いざいざ怠らず」、勉学に、スポーツに、「文武一道」、仲間と一緒に、真摯に励んでください。そのように集中すると、いつもは気づけない、心の奥深くにある本来の「自分自身、自己」の姿を発見してしまうことがあります。そのような心の声を聞くことができなると、「自分自身」の、氷山の一角に過ぎない、表面に見出される



佐藤一郎「咲きほこる桜花」2023年 アルシユ水彩紙、鉛筆、インク、水彩絵具、雲母金泥

「自意識、自我」に頼ってしまいます。そうなると、短絡的に結果を求める、たとえば偏差値至上主義や、極端な拝金主義も生まれてしまうのです。

宮城県仙台第二高等学校同窓会 会員一同、並びに教職員一同、皆さんの御入学を心からお祝いします。本来の真の自己探求に励み、

**回想録**

**「得難きは高校同期生」**

旧仙台二中・仙台二高同窓会名誉会長

大井 龍司 (高10回)



私は仙台二高昭和33年卒業、高10同期生である。私どもの同期会は「三三三」と称し、地元仙台のみならず、東京でも定期的かつ傘寿過ぎてなお活発に開催されている（以前は東海にも。なお同窓会東海支部長は同期の佐山泰弘君、九州支部長は同じく菅原俊秀君）。後輩諸君に同期生の存在が如何に人生の支えになっているかを知ってもらおうと、同期生への謝意

心の奥深くにある「自分自身、自己」に限りない信頼を寄せてください。「ローカルな地域社会」と「グローバルな地球社会」の一員として取り組み、そして貢献なさり、真の人間として成長することを祈念し、祝辞といたします。

を表したいために本拙稿を寄稿した。

私の生業は医学であり、しかも典型的な世間知らずの医師であった。というのも、終始大学に籍を置き日常家庭を顧みることなく診療、研究、教育に没頭、大学退職後は宮城県立こども病院開設準備とその管理運営に明け暮れる生活を送っていた。

私事に及び恐縮であるが、約二〇年前に家内が膵臓がんに罹患、闘病生活約二ヶ月で急逝した。家庭内の諸事万端すべて家内に任せっきりで、預金通帳一つとっても何処にあるか分からずにパニック状態の私を救ってくれたのが三三三会の仲間達であった。大学での友人は医学関係のみでの付き合い

が多いが、高校の友人達との交友関係はそれとはまったく異なる。税理関連ほか多業界で活躍する高校の友人の有難さをこの時ほど感じたことはなかったのである。

さらにはこども病院開設準備に向けての署名運動でのこと、これを聞きつけた「三三三」仲間たちが率先して署名活動に加わり、なんと三ヶ月で目標の二〇万筆に達してしまっただ。

また当時仙台キワニスクラブの会長であった同期の荒木武雄君から「同クラブの創立三〇周年記念事業として、同期生の君がその設立に頑張っていることも病院に何か記念になるものを寄贈したい」との申し出を頂いた。その浄財に「三三三」諸兄の寄付ほかもあり、一気に膨らんで完成したのが世界的彫刻家、故佐藤忠良先生の「ブロンズレリーフ おおきなかぶ」である。

これら得難い同期生の存在が同窓会長を引き受ける理由の一つでもあった。また高10回評議員の四倉政美君と佐野伸義君は会議の度ごとに総会屋顔負け(笑)の発言で議長を後押ししてくれたこと、また私が会長を辞するに当たり、両君の呼び掛けて同期生有志諸兄が集まり慰労会を催してくれたことにも感謝している。

私が同窓会長在任一〇年間、卒業式前日に行われる同窓会入会式で「卒業後必ず同期会を結成し同

期生との交流を」と言い続けてきたのも、このような経験を踏まえてのことである。

(写真) 完成したレリーフ「ブロンズレリーフ おおきなかぶ」と故佐藤忠良先生、愛弟子の笹戸千津子氏(杉並区永福のアトリエにて)



校長挨拶

### 「二年目の展望」

校長 高橋 賢 (高35回)



四月十日の入学式には、同窓会会長、副会長のご臨席を賜り、三二〇名の新入生を迎え、全校生徒九五七名で令和五年度がスタートいたしました。この三年間、様々な制限を受けた教育活動も今年度からは大きく緩和され、これまで大運動会や定期戦など二高の伝統的な学校行事には、多くの同窓生や保護者の方々に来ていただき大変な盛り上がりの中、生徒、教職員と共に素晴らしい時間を過ごすことができました。この一年間、感染症対策も踏まえながら、普段の授業とともに、学校行事をさらに充実させ、人間力を高める教育活動を積極的に行っていきたくと考えております。

私自身も本校二年目となりますが、昨年度、一番感じたことは、何事にも一生懸命取り組む二高生の頑張り、その生徒を支える教職員員の時間を惜しまない熱心な指導、そして、同窓生や保護者、二高に関

係する方々の本校を応援する熱い思いでした。本校は県民からの注目度が高く、期待が大きい学校ですので、生徒も教職員もプレッシャーになるかもしれませんが、それだけやりがいを感じる学校です。将来の社会を担うリーダーとして活躍できる人材の育成に、全ての力を注いでいきたいと思っております。私も生徒と一緒に教育活動に参加し、二高に携わるすべての方々とともに、よりよい学校にしていきたくと思います。

今年度の学校経営方針については、柱となる教育目標「至誠業に励み、雄大剛健の風を養い、ともに敬愛切磋を怠らず」のもと、5つの重点目標を設定していますが、その土台となるのは、生徒と教職員、その家族や周りの人たちの命や健康です。これから社会を生き抜く本校生には、どんな場合でも、人間の命の大切さや健康のありがたみを第一に考えられるような人に育てたいと考えます。「元気があれば何でもできる」の気持ちで、全ての教育活動において、「かけがえのない自他の命を大切にし、心身ともに健康な生活を送ることを実践していきたい」と考えます。

また、重点目標については以下の5点としました。

- ① 授業第一主義のもと、生徒の主体的な学習態度の育成と質の高い授業づくりを追求する
  - ② 新学習指導要領に基づいた指導と高度な探究活動の実践により、生徒の資質・能力の向上を図る
  - ③ 高大接続改革への適切な対応により進路指導活動を充実させ、生徒一人一人の進路目標達成を支援する
  - ④ 自主自律の精神・態度を育成し、生徒の学校内外における生活の質を高める
  - ⑤ 一人一台端末の活用を推進し、ICTによる教育活動を発展させることで、多様な学びの環境を整える
- 今年度はポストコロナにおける各教育活動のあり方を常に考えながら、特に、新学習指導要領に基づいた指導の定着、三年生の進路実現に向けての支援、生徒の自主的な活動(部活動・生徒会活動・応援団活動等)の充実、ICTの活用による学習環境の整備に力を入れたりと考えます。また、校舎の長寿命化改修が決定したことで、今年度は仮設校舎の設計、次に本校舎の設計が始まります。その準備を進めていく予定です。
- 最後になりますが、同窓会の益々のご発展と、同窓会の皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、母校に對しまして変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

寄稿

### 「恩師逝く」

同窓会副会長 千田 耕一 (高23回)

令和五年三月三十一日恩師「敏ちゃん」こと今野敏先生が逝去されました。多くの学生に慕われ、人生の指標、生き方を教えてくれた先生でした。私と先生の出会いは入学してまだ三ヶ月ほどの中間試験の時でした。試験が始まる前日、授業中に突然指導の先生から呼び出され、定期戦の後に三年生の先輩宅で行った祝勝会の写真を見せられました。そこには、ビール瓶を前に笑顔の一同が写っていました。かくして私は同学年で最初の停学者となりました。たまたま翌日から試験だったことから、私たちは化学などで使われる階段教室に隔離されて試験を受けることになり、そこに当時二年生の担任だった今野先生が「ガハハハッ」と笑いながら入ってきて、「まあ、頑張れや」と一言残して去ってしまいました。豪快な先生の印象が強く残った出会いでした。三年生になって講堂で学級担任が発表され、今野先生の名前を聞いた時、我々の

組は大歓声をあげました。以来、高23回辰巳会の会合には必ず参加いただき、令和四年六月に先生の卒寿と我々の古希を祝う会でいつも変わらぬ「敏ちゃん節」の講義を聞いたのが最後となりました。長い間のご指導ありがとうございました。寂寥の感は大きいです。心よりご冥福をお祈りいたします。

祝今野先生の卒寿と我々の古希



# 「甲子園出場」

## 仙台二高 関西北陵会

### 関西北陵会前会長

#### 麻喜宏雄様からのヒアリング

##### 「麻喜メモ」

昭和三十一年（一九五六年）

八月の夏の思い出から

### ●まえがき一

二〇一九年三月十六日（土）、大

阪天満橋OAP（大阪アメニティパーク）タワー24階の会議室で第21回関西北陵会が開催され、私は初めて出席しました。本会第五代会長の麻喜宏雄氏（高9）はご挨拶の中で、昭和三十一年八月開催の第38回全国高校野球甲子園大会に出場を果たした仙台二高野球部の活躍ぶりと当時の仙台二高応援団活動についてお話しをされました。

仙台二高野球部は、優勝候補の一角と目されていた神奈川県代表の慶応高校に逆転勝利を演じてベスト8まで進みました。同点で迎えた6回終了直後、甲子園球場は突然の雷雨に襲われて試合は一時間二十分にわたり中断したので

す。雷雨中断時の仙台二高応援団の応援行動の終始を麻喜前会長が紹介されました。

### 第六代会長

## 鈴木 武（高20回）

### ●まえがき二

慶応高校応援団は雷雨から逃れるために応援団席を離れ、一方、仙台二高応援団は雷雨をもとせず、に、「雨か嵐」を歌い拍手を交えて雨中の応援を続けました。そして雨があがって試合再開、仙台二高は一点を追加し奇跡の逆転劇を演じたのです。

母校が甲子園出場を果たしたこととさへ恥ずかしながら知らなかった私は、初めてこのお話しをお聞きしました。なんとそのときの応援団長は麻喜宏雄前会長ご自身だったので

是非ともこの内容を文字に刻み、私と同様に母校の歴史に疎い後輩諸氏に残したいと思ひ、さらに詳細をお聞きすべく麻喜前会長との面談を期待しておりました。

### ●麻喜前会長との面談いよいよ達成

コロナ禍のためになかなか面談チャンスもなく三年が経過しました。しかし、麻喜前会長より面談日についてお電話を頂戴し念願叶って二〇二二年三月十四日（月）にお会いする機会が巡ってきました。

麻喜前会長には、生駒市のご自宅より大阪グランビアホテルの階上レストランまでお越しいただき、昭和三十一年夏の思い出を一時間二十分にわたりお聞きすることができたのです。

当日、重さ三キロ以上にもなる『宮城県仙台一中二高野球部史（平成五年十一月二十七日発行）』と『仙台一中・仙台二高百年史』、そして思い出となる当時の新聞記事や写真数点を遠路はるばる持参されました。

### ●インタビュースタート

麻喜前会長が持参された上記記念誌二誌には、当時の詳細な記録と甲子園球場で慶応高校と対戦した選手の皆様の思い出が綴られています。しかし私どもがこれら記念誌を目にすることは極めて稀です。従いまして、応援団長であった麻喜前会長の臨場感あふれるお話しをベースに記念誌二誌の内容を参考にしながら、当時を知らない後輩諸氏を想定して『麻喜メモ』として書き下ろしてみました。質実剛健、「自治・友愛・和楽」を

校訓とする仙台二高を卒業した誇りを今一度思い新たにしていただければ幸いです。

### ●当時の仙台二高野球部

我が母校野球部は、夏の甲子園大会には大正十四年（残念ながら初戦敗退）、昭和二十二年（ベス

ト4進出）に次いで昭和三十一年三回目の出場となりました。

当時、選手背番号は予選大会では付けていませんが、甲子園球場で初めて全員が1から14までの背番号を付けていました。ベンチ入りは、当時の規程では選手十四名ということですので部員全員が一人も欠けず、一人も余らずベンチに入ったそうです。

昭和三十一年の春、野球部員は三年生が卒業で抜けた後、四月には二年生が四名、一年生が五名の九名がそれぞれ進学しましたが、新たに新入生が四名、二年生が一名加わり、総勢十四名、そしてマネージャー一名というぎりぎりの戦力です。

下馬評にもあがらなかった部員十四名の仙台二高野球部は、当時の野球部員の回想録にもありましたが、名伯楽と言われた二瓶喜雄監督の下、シーズンオフの冬期、

走れ走れの厳しい練習、とくに皆さんもご存じの亀岡八幡神社のあの長い急な石段の上り降りを繰り返したそうです。その厳しい練習のお陰で、部員は予選で試合ごとに力をつけていきました。また、

仙台一高や東北高の好敵手の存在も忘れられないそうです。

夏の甲子園出場を決めたその後、練習では、部員の少ない仙台二高の打撃練習に東北高校野球部が練習台をかって出て守備についていただいたそうです。ライバル校

の監督同士の友情は宮城県高校野球史に残るものでした。

### ●甲子園出場までの奇跡の道のり

当時の甲子園大会出場権は、宮城県予選で勝ち進み、次いで宮城県・福島県から各二高が選出され、その中で勝ち上がった一高のみが甲子園の切符を手にすることができたのです。

仙台二高は、宮城県予選で一回戦不戦勝、二回戦七―〇（古川工）、三回戦二―一（石巻商）、準々決勝五―〇（仙台工）、準決勝五―二（登米）、決勝三―一（白石）の戦績で東北大会に勝ち上がり、一回戦で六―三（福島商）、二回戦五―四（仙台一高）、決勝では磐城高との対戦で九回無死満塁の大ピンチを凌ぎ三―一で劇的な勝利により甲子園出場を果たしました。

上記記念誌を読み知るところ、甲子園までの道のりは劇的な場面の数々でした。東北大会第一回戦では九回裏同点にされてなお無死満塁を凌ぎ延長で撃破、準決勝では仙台一高との対戦、九回表に四対三でリードされたながらもその裏に同点とし延長でサヨナラ勝ちをおさめたのです。決勝では磐城高に一打逆転の大ピンチに追い込ま

れながらもそれを乗り越えて甲子園の切符を手にしたのです。

### ●甲子園出場までの応援団のご苦労

仙台二高の応援団団長は、昭和

三十年までは運動部が持ち回りで応援団長を務めていたのですが、昭和三十一年以降、応援団長は三年生を除く生徒会内公募制となり四名の立候補者の中から、麻喜前会長が初めての公募により応援団長となりました。

昭和三十一年夏、当時の立花尚生徒会長と麻喜応援団長の二人は、応援の寄附を仰ぐため仙台市医師会の旧制二中、仙台二高OBの先生方を中心に募金活動を行つたそうです。学校側からは、応援団は十名だけの参加にして欲しいとの要請もあり、応援団二十名全員の参加は叶わず十名だけが甲子園に行くことになりました。

応援につきもののブラスバンドは、当時仙台二高OBが教師として所属していた兵庫滝川高校のブラスバンド二十名が友情応援演奏を行ってくれました。応援歌の楽



仙台駅での壮行式。中央は、麻喜宏雄応援団長。

譜はなく、当時コーラス部に所属していた立花生徒会長が発する応援歌からブラスバンドが音符として読み取り演奏されたそうです。このようにして構成された甲子園での仙台二高応援団は総勢わずか三十名だったのです。

●甲子園球場にて第二試合

昭和三十一年八月十四日、仙台二高は第一戦不戦勝、第二戦が初戦となりました。相手は優勝候補の一角神奈川県代表の慶応高校。試合開始のサイレンが鳴り終わるか終わらないうちに一点を取られ、そしてさらに一点を追加されてしまいました。野球好きで埋め尽くされた甲子園球場観客からは「こんな草野球を見に来たんじゃないぞ」とのヤジが飛びのを応援団員はなんとも悔しくやりきれない思いで聞いていたそうです。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回
慶応高校	2	0	1	0	0	0
仙台二高	0	2	1	0	0	0

●雷雨雷鳴下、両校応援団の応援行動が明暗を分けた

試合が中盤の六回終了後、雷鳴とともに激しい雨が降り始め試合は一時間二十分にわたり中断し、そこから両校野球部の運命の分かれ道となりました。その時点では、観客のほとんどが優勝候補の慶応高校応援で埋め尽くされてい



甲子園球場

たものと推測します。

雷雨と共に慶応高校の応援団は屋根の下に移動、一方、仙台二高応援団は退くことなく、まさにこの情況にふさわしい応援歌「雨か嵐か」「北斗の光」を一時間二十分、慶応高応援団旗「三色旗」だけが濡れおちる無人の甲子園球場に対して、あの応援旗を夢中で振り続け、夢中で応援歌を歌い続け、夢中で拍手を重ね続けたのです。なんとこの情熱極まる応援でしょうか。

こうした情景を想像し、私が注目するのは雨中の応援もさることながら若干十七、十八歳の高校生諸君が、相手校の応援団が移動するのを見ながらもその行動に左右されることなく、応援団席にとどまり応援を無心に継続したということ。これはリーダーとして迷うことのない「判断力」そのものであり感服に値する行動です。これが平素から鍛えられた仙台二

高健児の質実剛健を具現化したものなのでしょう。

そのときのこの異様とも思える応援情景は大いに観客の心を動かして、関西地区在住の仙台二高同窓会（現在の関西北陵会になるのでしょう）が準備した二千の小旗とウチワが観客に配られ、甲子園球場は仙台二高応援団わずか三十人から二千人へと変身し、慶応高校の応援を凌駕するものになったのです。応援団長麻喜前会長はこの有り様をみて大いに感動した、ともらしていました。そして試合が再開された一時間二十分後、奇跡の逆転劇を生み出したのです。これは雷雨雷鳴時の両校の対照的な応援行動の当然の帰結と言えるのではないのでしょうか。

この雨中の応援は大阪朝日新聞の昭和三十一年八月十五日の朝刊に横山泰三の漫画で「雷と応援団の太鼓合戦」と題して紹介されました。

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	計
慶応高校	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
仙台二高	0	2	1	0	0	0	1	0	X	4

●勝利校の栄誉

昭和三十一年であれば、既に甲子園の高校野球はテレビ放映がされていたのでしょうか、現在と同様、勝利校の栄誉を称える校歌斉唱は、その年にNHKコンクール

全国大会で男声合唱三位となった仙台二高コーラス部による校歌斉唱（録音ですが）がテレビやラジオから全国に流れていったものと思えます。

とりわけ仙台二高応援団は、雨上がりの激戦の地、甲子園球場において勝利の校歌を聞く栄誉に恵まれたのです。その時の感動はとても想像しがたいものです。

ベスト8に進んだ仙台二高野球部はその活躍が認められ、その年の国民体育大会にも出場、準決勝まで勝ち進み名門中京商に惜しくも三対一では敗れました。しかし、なんと名誉なことでしょうか、その試合は天覧試合だったのです。その国民体育大会の優勝校は仙台二高が惜敗した中京商でした。昭和三十一年、わずか七名の野球部員からスタートし奇跡を重ねて活躍し続けてきたその年の仙台二高野球部のドラマを締めくくるにふさわしい天覧試合でした。

●甲子園から学び語り継ぐ言葉

関西に居住する麻喜前会長は、夏の甲子園大会が始まると宮城県代表が出場する試合はいつもアルプススタンドの一隅に席をとり観戦するのが常とのことでした。母校仙台二高野球部が予選大会で戦ったであろう宮城県代表高の試合を応援するためにです。インタビューの最後に、麻喜前会長に仙台二高の後輩諸君に語り

継ぐ言葉は何でしょうか、と質問したところ、『“Never give up”』決して諦めない』という言葉が即答されました。昭和三十一年の甲子園大会出場までの奇跡的とも思える連戦連勝の場面をみてきたからこそ発せられる言葉なのだろうと思います。『諦めない』という言葉は麻喜前会長のその後の人生の座右の銘ともなりました。

私は『諦めない』という言葉は「目的に向かって日々努力せよ」という意味としてあらためて捉え直す。自分自身が決めた道を諦めずに前進することこそ成功へつながる道となり、たとえその時その時に達成できずとも、目的目指して努力し続けることから学ぶべきことは非常に多いのではないのでしょうか。一時間二十分のインタビューでしたが、中学時代に弁論部に所属し大会優勝経験をお持ちの麻喜前

会長のお話しは聞き手を惹きつけ、当時は彷彿とさせる極めて興味のある有意義な時間でした。麻喜前会長に心からの感謝を申し上げますとともに益々のご健勝を祈念する次第です。

弥栄

生駒にて再会を果たした  
二〇二二年五月十六日(月曜日)

1. 雨か嵐か 暗雲の  
十字の砲火 青葉城  
いざ戦はん わが健児  
熱血湧きて 血は踊る  
進め進め 断乎と進め

2. 歌に詠まれし荒城の  
岩嘯む流れ 広瀬川  
意気衝天の我が健児  
鉄腕誰をか恐れんや  
進め進め 断乎と進め

# 支部総会 同期会 等 開催報告

## 支部総会報告

### 仙台二高 在京同窓会

練生川淳志(副会長/高30回)

在京同窓会では、二〇二二年十二月十八日(日)に総会&懇親

会をハイブリッドスタイルで(リアル会場は浅草ビューホテル)開催しました。在京同窓会総会は、二〇二〇年、二〇二一年がコロナで中止となり、昨年(二〇二二年)は完全オンラインでの開催でしたので、リアルでの開催は三年ぶりとなりました。

ハイブリッドスタイル総会開催にあたり、昆野巨実行委員長(高51)をリーダーとする十八名の若手を中心とした実行委員の皆さんが、一生懸命準備してくださいました。七月の学年幹事会で、ハイブリッドスタイルで開催することが決定し、八月に総会実行委員会が組織されました。全五回の総会実行委員会は全てオンラインで開催しましたが、準備や細かい打ち合わせ、また取材などはリアルで行いましたので大変だったことと思います。

総会当日は、仙台から、高橋賢校長(高35)、佐藤裕洋副会長(高17)、千田耕一副会長(高23)、横山佳司事務局長(高33)にご出席いただきました。また、佐藤一郎会長(高17)にはオンラインでご参加いただきました。在京同窓会の会員参加は、会場でのリアル参加が百名、オンライン参加が三十名と盛大な会となりました。

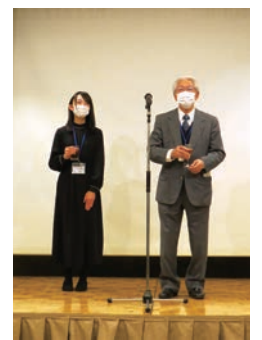
総会の司会は、新役員の岡崎志郎さん(高27)です。総会に先立ち、会員物故者へ黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。今年も二十一名の会員のご家族から訃報のご連絡をいただきました。

総会では、最初に在京同窓会会長の上條努さん(高24/サッポロホールディングス株式会社特別顧問)からご挨拶をいただき、その後ご来賓を代表して高橋賢校長と佐藤裕洋副会長からご挨拶をいただき

きました。高橋賢校長からは文武にわたる後輩の活躍の様子をお話しいただき、続いて佐藤裕洋副会長から本部同窓会の活発な活動内容についてお話しいただきました。その後、幹事長による事業報告と会計報告、そして齋藤博史さん(高32)による監査報告が行われ、全ての議事が承認されました。また、今回で役員を退任される鈴木博敦さん(高14)へ上條会長から花束が贈呈され、退任ご挨拶をいただきました。鈴木博敦さん、長い間ありがとうございました。



参加者集合写真



ダブル乾杯(高5 & 高74)

続いての懇親会の司会は、富田めぐみさん(高69)です。最初に総会実行委員長の昆野巨さんより開会宣言をいただきその後乾杯に移りました。乾杯は、在京同窓会名物の参加者の中で最高齢と最少のダブル乾杯です。最高齢は、高5回の高橋毅さん、最年少は高74回の郷沙智子さんでした。

乾杯後は、しばらく歓談のあと、仙台二高生ならではのクイズ、「二高のあのこと聞いてイイですか?」が出題されました。また、今回からの新テーマ、「二高のおらが名物おとこおんな」という卒業生紹介コーナーでは、共学化15周年を記念し、女子卒業生の中から、印度カリ子さん(高67)と小菅桃さん(高63)が紹介されました。印度カリ子さんは、ForbesJAPAN2021におおて大谷翔平と共に「世界を変える三十歳未満の日本人三十人」に選ばれました。また、小菅桃さんは、女子初の応援団長として滅亡の危機にあった応援団を復活させたバイタリティーの持ち主で、現在は仙台市内で循環器内科の医師として活躍です。そして、会の終盤で



は、恒例の、応援団OBによる校歌斉唱と応援歌、そしてエールを行いました。

今回は、恒例の仙台二高グルメマップも大幅改訂され参加者に配布されました。中締め後参加者全員で記念撮影をしてお披露喜となりました。

なお、在京同窓会は、島田淳さん(高33)を新幹事長として新体制でスタートしました。五月には新卒者歓迎会&若手交流会をリアルで開催予定です。首都圏に在住の学生を中心とした交流会となります。首都圏に在住で在京同窓会に未登録の方は、こちらのQRコードより登録ください。登録後事務局からご案内をさしあげます。



### 三九学遊会

犬飼 健郎(幹事/高17回)

七年前の平成二十八年に私達は古希を迎えましたが、その頃になりますと、東京・名古屋・大阪等で活躍していた同期生が一人、二人と仙台に戻ってきました。その人達を中心になって、二高時代の誼を復活させたい、そして、単に飲み食いだけでなく、それぞれが経てきた人生、またそこで得た

知識・経験を語り合う会にしたいという熱心な声が出ました。そこで、昭和39年度卒業なので名称を三九学遊会として結成し、毎回同期生二人が講演し、そのあと懇談するという形式で年に三回開くことにしました。

こうして、とにかく始めようと平成二十八年五月二十日に第一回三九学遊会を開催し、二十七名の同期が集まりました。約五十年という時を経て会う人達もいて、二高時代を懐かしみながら思い出を語り合いました。

有朋自遠方來、不亦樂乎

(論語 学而篇)とは、こういうことなのかと、漢文の早坂正治先生から教室で習った教えを五十年を経て感得でき、これはこの会を作った効用でした。講演後は、酒を酌み交わしながら会食・懇談を行っています。

今回五月二十八日で十六回目ですが、この間、現在の二高同窓会会長で画家の佐藤一郎君が『見ること』と「描くこと」油畫の重層構造」という演題で、また今年五月に二高創立記念日に在校生に講演をした日本学士院受賞者の平朝彦君が「地球の歴史から見た私たちの未来〜人新生の到来〜」という演題で講演しました。

既に三十名以上の講演者がいますので、すべてをあげることはできませんが、日本の高度成長を実業界で支えた同期生、また学



- 豊かになること
  - 三、何と云っても楽しく、笑いがあること
  - 四、笑うことは百薬の長であり、健康にもすばらしく良いこと
  - 五、同期生と一緒に会を進めていきますと、評定河原で夕陽を受けないながら「雨か嵐か」を放吟したあの頃の熱気がよみがえることで、気持ちが若返ること
- (以上三九学遊会五徳)
- みんなで、前向きに楽しく傘寿までこの会を続けようと言語合っているところです。

### クラブ・回期報告等

### 第38回 応援団幹部 BOBOG会

#### 総会のご報告

仙台二高応援団幹部BOBOG会  
副会長 赤堀 次郎(高38回)

二〇二三年五月十三日(土)、

楽天モバイルパーク宮城において、仙台二高一高硬式野球定期戦が開催されました。試合では、得点を入れる機会、さらには安打を打つ機会を来年度に持ち越すという形で、わが二高は準優勝の栄誉に浴することができましたが、優勝の機会を来年度に持ち越すことになったのは大変遺憾でありました。

同日十七時より、江陽グラウンドホテルにて、応援団幹部BOBOG会総会を開催いたしました。久し

く、イーグルスベスト、青葉城本丸会館での開催が続いていたので、久しぶりのホテルでの開催ということになります。昨年度の倍以上の三十五名ほどの参加をいただき、大変盛り上がりしました。前会長の中於菟彦先輩(高15回)の急逝をうけ、総会は千葉会長(高26回)の開会宣言の後の田中先輩への一分間の黙禱で始まり、来賓の佐藤一郎同窓会長(高17回)、応援団副団長でもありました、県議会議員の菅間進先輩(高21回)のご挨拶をいただいたのち、各世代の代表がスピーチを行いました。多くの方が田中先輩の思い出話をされ、また、先輩の「BOBOG会をさらに発展させるように」という「遺言」に言及されており、参加者一同、田中先輩の衣鉢を継ぐという気持ちで新たにしました。



昨年度から、SNSを活用した名簿の整備と若い世代との連絡網の構築、ということがテーマに

なっていたが、今回はグループLINEにその場で続々とご参加いただくなど、新しい世代の息吹が感じられる会になりました。来年の定期戦までに、様々な活動をおこなっていきたくと考えております。同窓生諸氏の一層のご協力とご支援をどうかよろしくお願いいたします。

\*もし元応援団幹部の方で、まだメーリングリスト未登録という方がいらっしやいましたらsendainiko\_ouendan\_OB@googlegroups.comに氏名、回期をご記入したメールをください。またFacebookでも仙台二高応援団幹部OB OGというグループで情報を共有しています。検索して参加申請を出してください。

### 「どちらの野球部ですか？」

硬式野球部OB会会長  
岡崎 正行 (高28回)

昨春、私たち硬式野球部の高校74回卒OBである石井優成と酒井捷の二名が、東京大学に現役合格し新聞等に取り上げられたことをご記憶の同窓生もおられることかと思ひます。

私はある取材で「これまで野球部から東大に二名も現役合格したことは？」と訊かれ「東大に進んだ野球部OBは何人かいました。が、同学年で二人も現役合格した

ことはないですし、我々年配のOBには隔世の感があります。」という返事をしたことを思い出しました。仙台二高の進学状況が飛躍的に改善しだしたのは、学区制の導入後であることは周知のことです。「我々の頃」という年寄りOBの常套文句をあえて使わせていただくならば、受験校だけ進学校ではないと言われていた当時の二高においてさえも、あまり勉強をしないものが多いのが硬式野球部でした。(注 二年の夏の大会までは…であって、その後はそれなりに勉強をしたものですし、勉強をしなくても成績が良かった先輩・後輩はたくさんおられました。念のため) そんな時代を過ごしてきた我々にとって、東大に現役合格など現実味のない事だったのですが、近年はいわゆる超難関大学に進学していく子が頻繁にいます。今春卒業した75回卒OBでも大江宣知、丹野翔太が東大に現役合格し、硬式野球部から二年連続東大現役合格者二名という快挙を達成してしまいました。こう聞くとともに「どちらの野球部ですか？」というのが本音でしょうか！塾では、進学を考えるなら硬式野球部はブラックだと言われた時期もあったようですが、いまや東大を狙える部活は野球部？ビックリです。

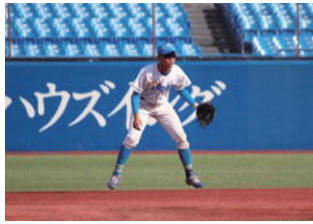
レギュラーの座をつかみました。石井も頑張っております。今年入学の大江、丹野も野球部に入ってくれば、二年後のリーグ戦あたりで四名の仙台二高OBが名前を連ねることも夢ではないように思われます。文武一道の精神のもと二高野球部OBとして活躍している後輩を誇りに思うと同時に、さらなる活躍を期待してやみません。

### 東京大学硬式野球に所属して

石井 優成 (高74回)

私は現在、東京大学文科一類に在籍し、大学では運動会硬式野球部に所属しています。入学して丸一年がたち、勉学、部活動ともに充実した生活を送っています。

東京大学野球部は、東京六大学野球というリーグに所属しております。他大学から勝利をあげるために切磋琢磨しています。野球部での活動もあつという間に一年が過ぎましたが、大学野球では求められるプレーの質も高校の頃とは比べ物にならないほど上がり、そのレベルの高さを痛感しています。



を目標に日々練習に取り組んでいます。二高では、「文武一道」ということが言われていますが、東大での現在の生活は、まさにその文武一道のあり方を徹底して突き詰めることが求められているように感じます。大学では、勉学、野球ともに自己の裁量に任せられる部分がとても多くなりますが、一方でどちらも高いレベルのものを成果として要求されます。特に野球の面では、多くの時間を野球に費やすことができている他大学に対し勝利をあげるために、自らで時間の使い方を管理し、練習の質を高めなければなりません。私自身も、自らの目標を達成するためには、これまで以上に妥協せず取り組みなければならぬと感じています。

### 東京大学硬式野球に所属して

酒井 捷 (高74回)

仙台二高同窓会の皆様初まして、東京大学文科二類二年の酒井捷と申します。私は現在、東京六大学野球連盟に所属する東京大学野球部に所属し、学業と部活動の

両立を志して日々を過ごしております。東京六大学野球連盟は早稲田大、慶応大、明治大、法政大、立教大、そして東京大の六校で構成される日本最高峰の大学野球リーグです。この六校の中で、東大のみが唯一野球での推薦入学のない大学となっており、東大は現在25年間最下位にあります。単純な実力では劣る東大が如何にして他の五大学から勝利をあげるかという問題、そして何より、甲子園で活躍したようなスター選手との対決に魅力を感じながら日々研鑽しております。

このような充実した大学生活の基礎となっているのはまさに、二高の「文武一道」という校訓だと感じております。苦手を克服する過程や、一つの物事対して深く研究することは文武に共通する要素であり、文武を超えて広く学ぼうとする姿勢は高校時代に身についたものであります。

原稿を執筆しております現在、私はリーグ戦の最中であり、最下位を脱出しようともがく東大生の姿に少しでも興味を持っていただきたいと思います。



### 2023年度 年間行事予定

<同窓会公式行事>

日 時	行 事	会 場
4 / 10 (月)	入学式	二高講堂
5 / 1 (月)	創立記念 講演会 平朝彦東海大学海洋研究所長	二高講堂
5 / 11 (木)	大運動会 (活動助成)	二高校庭
5 / 13 (土)	硬式野球定期戦	楽天モバイルパーク宮城
5 / 21 (日)	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	富谷カントリークラブ
5 / 27 (土) 14 : 00~	定例評議員会	江陽グランドホテル
6 / 1 (木)	同窓会報第56号発刊	
6 / 10 (土)	仙台二高同窓会若手交流会	江陽グランドホテル
6 / 21 (水)	当番回期打ち合わせ会 (高34・35・46・47・58・59)	二高会議室
7 / 1 (土) 13 : 00~	校内ツアー	二高
7 / 1 (土) 15 : 00~	同窓会総会・講演会・懇親会	江陽グランドホテル
9 / 2 (土) ~ 9 / 3 (日)	北陵祭 (同窓会ブース開設予定)	二高
12 / 1 (金)	ニューズレター第9号発刊	
12 / 21 (水)	当番回期・PTA合同打ち合わせ会 (高35・36・47・48・59・60)	二高会議室
1 / 6 (土)	PTA同窓会合同新年懇親会・高74回二十歳を祝う会	江陽グランドホテル
2 / 29 (木)	同窓会入会式	二高講堂
3 / 1 (金)	卒業式	二高講堂

※COVID-19の感染状況により中止になったり、今後中止になる行事もあります。ご確認は同窓会事務局までお願い致します。

<理事会> ※原則として第3水曜日に開催(12回)  
4/19 5/10 6/21 7/19 8/23 9/20 10/18 11/15 12/20 1/17 2/21 3/21

<支部会/OB会/同期会>  
※開催決まればHPに掲載いたしますので事務局までお知らせください。

#### 総会報告

令和四年七月二日(土) 江陽グランドホテルにおいて二〇二〇年度総会が開催されました。参加者は、約一〇〇名を数えました。

横山佳司事務局長(高33回)が司会進行を務め、佐藤一郎同窓会会長の挨拶及び高橋賢校長の挨拶の後、来賓紹介では、高橋賢校長(高35回)・後藤順一前校長(高33回)・庄司元校長(高22回)の他、練生川淳志在京同窓会幹事長(高30回)、鈴木武関西北陵会会長(高20回)、鈴木恒男若手支部長(高5回)、四倉政美若沼支部長(高10回)、手戸雅己巨理会会長(高15回)、日野宏登米・栗原・南三陸支部長(高24回)が紹介されました。

佐藤会長が議長を務め、提出議案の審議が行われ、第一号議案二〇二一年度事業報告・第二号議案二〇二一年度収支決算報告・第三号議案二〇二二年度事業計画案・第四号議案二〇二二年度収支予算案が承認され、第五号議案の役員改選では、宮内昭穂理事(高25回)と谷口秀樹理事(高27回)が退任され、新た

に横山政宣理事(高38回)と利大作理事(高41回)が選任された他、千田耕一理事(高23回)と内藤喜仁(会計監事(高44回)が再任されました。連絡・報告事項では、「①評議員の活性化について、②同窓会費の納入対策について、③収支決算の提示の改善について、④同窓会報計報記事の誤記訂正について、」が報告されました。なお出席者からそれぞれに対しての貴重なご意見を頂きました。

この他、佐藤茂元同窓会副会長(高28回)から、会報55号の大井龍司名誉会長の寄稿の中の「どちらかと言えば「否」を唱える会員が多かった」は事実誤認となる可能性があるとの指摘・ご意見がありました。理事会としては、大井名誉会長のご意見をも伺い、訂正の必要はないとの判断を下し、後日、その旨を佐藤茂さんに連絡を差し上げました。

総会終了後の講演会では、「スパイスカレの魅力!自分流のスパイスカレを作ってみよう」と題して、印度カリー子(高67回)さんが講演し、盛会裏の中終了しました。千田 耕一(高23回)記

#### 理事会からのお知らせ

#### 北陵祭

コロナ禍も明け今年は従来とおり九月三日、四日に北陵祭が開催されます。同窓会ブースも開設いたしますので多く同窓生の参観を心よりお待ちしております。

#### 評議員推薦のお願い

評議員会は同窓会の最終議決機関として、極めて重要な役割を果たしており、評議員各位のご尽力は同窓会活動上欠かせないものです。現在は各回期の評議員が二名体制になっております。評議員の選出については、同窓会会則第八条五項に「評議員は常任委員の互選により選出」とありますが、現実的な対応として「同回期生複数の推薦により選出」とさせていただきます。

定員を満たしていない回期の会員の皆様におかれましては、是非とも評議員の推薦をお願い申し上げます。

# 評議員会 報告

令和五年度第一回評議員会  
令和五年五月二十七日(土)  
十四時)

会長挨拶 佐藤一郎会長

議長選出 齋 基之氏(高25回)

審議

第一号議案

第二号議案

第三号議案

監査報告

第四号議案

第五号議案

第六号議案

役員改選について

専門委員の委嘱について

連絡・報告

同窓会活動活性化事業について

愛知揆一銅像の移設について

閉会挨拶 佐藤裕洋副会長

# 理事会等 記録

二〇二二年五月十一日(水)

同窓会報編集の進捗状況

同窓会報と同窓会費納入依頼書・寄付依頼書等について

評議員会の議題の整理等

同窓会WEB周りの課題と優先順位

・評議員会の最終出席者報告、評議員会使用の名札・会場席順等の確認  
・愛知揆一像移転の進捗状況  
・定期戦その他学校の近況

二〇二二年六月十五日(水)

・総会を担当する当番回期との打ち合わせ  
・評議員会の議事録  
・同窓会報の発刊  
・定例総会議案及び資料の整理  
・評議員会の議題の整理等  
・定期戦その他学校の近況

二〇二二年七月二十日(水)

・副会長として、小野寺満明理事を選出  
・理事の会務分担について  
・佐藤会長、佐藤副会長、横山事務局長の岩沼支部総会への出席  
・同窓会総会(二〇二二年七月二日)の総括  
・全国大会出場クラブへの激励金贈呈  
・学校の近況  
・愛知揆一像移設に関する動向

二〇二二年八月十七日(水)

・愛知揆一像の移転について、愛知揆一福祉振興会からの進捗状況の説明  
・会報・ニュースレター(NL)の印刷会社の決定  
・ニュースレターの企画内容  
・理事の会務内容について  
・インターハイ出場等の結果及び校内活動助成の執行状況  
・同窓会費及び寄付金の納入状況  
・岩沼支部総会報告

二〇二二年九月二十一日(水)

・愛知揆一像移転の検討一時停止について  
・PT同窓の開催及び打ち合わせの進捗  
・北陵ニュースレター(NL)の記事及び分担  
・北陵会写真のホームページ掲載  
・会費・寄付金納入状況の報告  
・二高の今後の予定

二〇二二年十月十九日(水)

・NL9号の進捗状況  
・PT同窓の開催について  
・在京支部総会への出席者・高橋校長、佐藤副会長、千田副会長、横山事務局長  
・寄付金の礼状について  
・次期評議員会の議長団名簿  
・会報の原稿募集とHP掲載  
・同窓会室の書類整理と清掃  
・北陵ゴルフ大会について  
・クラブ活動助成金の進捗状況  
・会費及び寄付金の納入状況  
・長谷川 弘(高11回)から寄付をいただいた件

二〇二二年十一月十六日(水)

・フレックスADSL終了に代わる「ひかり」の工事及び名義人の変更について  
・次期評議員会の議長団補填  
・令和五年度の理事会等の日程  
・次回同窓会入会式資料の作成  
・議事進行役及び議事録作成担当者割り振り  
・NL9号の進捗状況

二〇二二年十二月二十一日(水)

・卒業生への贈呈旗について

・評議員会議長団の追加候補者  
・NL9号在校生分の増刷  
・二高一高対抗ゴルフ大会案内のHP掲載  
・同窓会会報の印刷会社入札  
・同窓会入会式の日程、式次第  
・仙台二高オリジナルクッキーの復活について  
・学校の近況  
・同窓会書類の整理・清掃  
・来年度同窓会総会講演者選定  
・東京支部の総会参加確認

二〇二三年一月十八日(水)

・新入生への贈呈品(手拭い等)  
・任期満了の役員及び改選役員  
・同窓会販売部等(オリジナルバック等)の作成  
・同窓会報の印刷会社選定  
・同窓会入会式資料(校正)  
・会費と寄付の納入用紙の改善  
・会費納入者と寄付者の名簿作成  
・学校の近況  
・PT同窓に替わる交流検討会  
・オリジナルクッキーについて

二〇二三年二月十五日(水)

・同窓会会報の印刷会社入札結果  
・同窓会入会式の同窓会案内(パワーポイント)  
・同窓会入会式の進行について  
・直近の若い卒業生へ対する企画  
・事務局員との契約更新  
・同窓会販売品(オリジナルバック等)の作成  
・大張理事への専門委員依頼  
・事務局通信(光通信)  
・学校の近況  
・PT同窓に替わる交流会検討  
・二高同窓会会員証について

二〇二三年三月十五日(水)

・同窓会入会式・卒業式の総括  
・会報56号の理事担当  
・入学式の物品(クッキー)販売中止  
・直近の若い卒業生歓迎会  
・今年度の会計決算見込み及び令和五年度予算  
・五月二十一日開催の二高・一高対抗ゴルフ大会  
・トリートバックの配布  
・事務局のWEB設置(光通信)  
・学校の近況

二〇二三年四月十九日(水)

・入学式の総括  
・評議員会の議案  
・役員の推薦  
・卒業生若手交流会  
・令和五年度予算  
・事務局のWEB(光通信)四月十七日設置  
・評議員会の出席状況  
・会報56号の進捗状況  
・学校行事五月一日創立記念日の記念講演

一般会計 2022年度収支決算報告

(2022年 4月 1日～2023年 3月 31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	次年度予算額
経常収入 (イ)	年 会 費	9,500,000	8,826,000	△ 674,000	9,500,000
	( 納 入 者 数 )	(3,167 人)	(2,942 人)	(△ 213 人)	(3167 人)
	(イ÷ロ)				
	年 会 費 納 入 率	21.8%	20.7%		21.8%
	入 会 金	1,100,000	1,108,800	8,800	1,100,000
	( 納 入 者 数 )	(306 人)	(308 人)	(2 人)	(306 人)
	受 取 利 息	0	38	38	0
	寄 付	3,000,000	4,415,059	1,415,059	3,000,000
そ の 他 収 入	0	23,550	23,550	0	
	【経常収入 小計】	13,600,000	14,373,447	773,447	13,600,000
繰越金収入	前 年 度 繰 越 金	20,584,640	20,584,640	0	19,772,966
	収入合計 (C)	34,184,640	34,958,087	773,447	33,372,966
経常支出 (ロ)	同 窓 会 報 発 行 費	4,200,000	3,773,695	△ 426,305	4,200,000
	( 発 送 通 数 )	(14,500 通)	(14,184 通)	(△ 316 通)	(14,500 通)
	ニ ュ ー ス レ タ ー 発 行 費	1,900,000	1,902,274	2,274	1,900,000
	( 発 送 通 数 )	(14,500 通)	(14,059 通)	(△ 441 通)	(14,500 通)
	校 内 活 動 助 成 費	1,350,000	1,220,000	△ 130,000	1,350,000
	卒 業 記 念 品	550,000	500,000	△ 50,000	550,000
	総 会 旅 費 補 助	150,000	90,460	△ 59,540	150,000
	総 会 補 填	650,000	640,000	△ 10,000	650,000
	( 出 席 者 数 )	-	-	-	-
	P 同 懇 補 填	200,000	0	△ 200,000	1,600,000
	( 出 席 者 数 )	(130 人)	-	-	(130 人)
	支 部 総 会 等 旅 費	300,000	90,740	△ 209,260	500,000
	支 部 総 会 等 祝 儀	150,000	70,000	△ 80,000	350,000
	会 議 費	250,000	251,896	1,896	250,000
	慶 弔 費	200,000	136,500	△ 63,500	200,000
	人 件 費	900,000	823,975	△ 76,025	900,000
	事 務 消 耗 品 費	120,000	51,342	△ 68,658	120,000
	切 手 葉 書 送 料	200,000	47,178	△ 152,822	200,000
	電 話 料	200,000	161,381	△ 38,619	200,000
	振 込 手 数 料	650,000	621,262	△ 28,738	650,000
	設 備 費	450,000	391,698	△ 58,302	250,000
	雑 費	60,000	42,145	△ 17,855	60,000
	同 窓 会 活 性 化 対 策 費	650,000	483,420	△ 166,580	1,250,000
	【経常支出 小計】	13,130,000	11,297,966	△ 1,832,034	15,330,000
臨時支出	特 別 会 計 繰 入	3,887,155	3,887,155	0	0
予備費支出	予 備 費	17,167,485	0	△ 17,167,485	18,042,966
	支出合計 (D)	34,184,640	15,185,121	△ 18,999,519	33,372,966
繰 越 金	(C) - (D)	0	19,772,966	19,772,966	0
残高 (2023.3.31)	現 金 ( 事 務 局 )		33,457		
	現 金 ( 事 務 所 )		33,746		
	現 金 ( 会 計 )		87,054		
	普 通 預 金 ( 七 十 七 )		1,457,945		
	郵 便 振 込 (13168)		11,748,453		
	郵 便 振 込 (123386)		6,412,311		
	差 引 合 計		19,772,966		

特別会計 2022年度収支決算報告

(2022年 4月 1日～2023年 3月 31日)

(単位：円)

区 分	項 目	実績額 (B)
収 入	前 年 度 繰 越 金	8,658,942
	一 般 会 計 受 入	3,887,155
	預 金 利 息	99
	収 入 合 計 (E)	12,546,196
支 出	旗 製 作 費	37,840
	振 込 手 数 料	550
	支 出 合 計 (F)	38,390
次年度繰越金	(E) - (F)	12,507,806
預金等残高 (2023.3.31)		
	普 通 預 金 ( 七 十 七 銀 行 )	12,507,806
	差 引 合 計	12,507,806

会費納入

について

昨年度の会費納入額は約八八二万円と目標額九五〇万円に届きませんでした。前年度実績八八六万円とほぼ同額となりました。目標額達成に向けて引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

同窓会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、同窓会報・北陵ニュースレターの発行、同窓会総会・PTA同窓会合同新年懇親会の開催、全国各支部との交流、北陵祭でのブースの開設、ホームページの充実などに取り組む同窓会の一層の活性化を図っております。また、入学祝い品・卒業記念品の贈呈、大運動会開催やクラブ活動に対する助成を行い、在校生が母校に誇りを持ち、文武一道を目指すことを支援します。

2023年5月吉日

宮城県仙台第二高等学校同窓会  
会員の皆様

宮城県仙台第二高等学校同窓会  
会長 佐藤 一郎

## 2023年度 同窓会費納入についてのお願い

会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、今年度も各種事業に取り組んでおります。

本活動の原資となるのが皆様から納入いただいている同窓会費です。

会員の皆様におかれましては、本活動の趣旨をご理解いただいたうえ、会費納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

会費納入に際しましては、ゆうちょ銀行ご利用の場合、同封の払込取扱票をご利用いただき、他銀行振り込みの場合は**振込人名義に氏名及び会員番号（当用紙に記載）をご記入いただきますようお願いいたします。**

〈七十七銀行 芭蕉の辻支店 普通預金 0097845  
宮城県仙台第二高等学校同窓会 会長 佐藤一郎〉

必ずご記入  
ください！

## 寄付納入のお願い

昨年度におきましても多くの会員の皆様からご寄付のご理解・ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年も同窓会の活性化と母校支援をさらに充実化させるため、同窓会活動にご賛同いただける会員の皆様には、謹んでご寄付の協力をいただきますようお願い申し上げます。

尚、同窓会報に寄付者一覧を同封いたします。氏名の掲載を希望されない方は、払込取扱票の通信欄にチェックを入れていただくか、その旨を事務局にご連絡ください。

### 2022年度 同窓会費納入状況

回期	会報 発送数	口数	入金額	回期	会報 発送数	口数	入金額
中 40	3	1	3,000	36	167	37	111,000
41	9	2	6,000	37	169	29	87,000
42	6	0	0	38	165	36	108,000
43	12	1	3,000	39	174	41	123,000
44	17	4	12,000	40	205	36	108,000
45	20	3	9,000	41	203	24	72,000
46	26	3	9,000	42	196	15	45,000
47	31	12	36,000	43	169	21	63,000
高 1	39	5	15,000	44	157	14	42,000
2	52	19	57,000	45	199	17	51,000
3	76	31	93,000	46	190	30	90,000
4	93	42	126,000	47	198	21	63,000
5	103	37	111,000	48	193	15	45,000
6	115	51	153,000	49	185	16	48,000
7	100	41	123,000	50	171	19	57,000
8	139	41	123,000	51	174	11	33,000
9	142	48	144,000	52	164	9	27,000
10	170	66	198,000	53	174	12	36,000
11	163	66	198,000	54	191	12	36,000
12	186	64	192,000	55	175	13	39,000
13	179	54	162,000	56	185	10	30,000
14	180	88	264,000	57	191	6	18,000
15	177	81	243,000	58	184	14	42,000
16	188	75	225,000	59	195	11	33,000
17	198	80	240,000	60	198	16	48,000
18	207	99	297,000	61	202	14	42,000
19	168	73	219,000	62	195	18	54,000
20	172	60	180,000	63	205	13	39,000
21	220	82	246,000	64	207	10	30,000
22	249	95	285,000	65	241	24	72,000
23	182	65	195,000	66	221	20	60,000
24	166	61	183,000	67	237	22	66,000
25	196	74	222,000	68	263	28	84,000
26	208	72	216,000	69	247	28	84,000
27	190	51	153,000	70	252	44	132,000
28	189	69	207,000	71	273	30	90,000
29	162	37	111,000	72	294	43	129,000
30	170	50	150,000	73	299	70	210,000
31	166	37	111,000	74	313	61	183,000
32	174	47	141,000				
33	183	46	138,000				
34	173	42	126,000				
35	180	41	123,000				

### 令和四年度 同窓会入会式

寒さも一段落した二月の末、二月二十八日に本校内講堂にて、二〇二二年度卒業生の同窓会入会式が執り行われました。卒業式を目前に控えた三年生たちが集まる中、佐藤一郎同窓会会長より、開式のご挨拶をいただき、続いて、卒業記念品が75回生の評議員の高橋慧多さん・小林彩花さんに贈呈されました。

ただきました。その中で、コロナの影響も緩和されつつあるこれからの活動として、新たに会員となった75回生を交えた若手同窓会員交流会を執り行うなど、仙台二高同窓会活動の今後の活性化につながるような内容の発表もあり、75回生の皆さんは真剣に聞いておられました。



佐藤一郎同窓会会長、高橋賢校長先生と、理事の方々を交えての高75回評議員（高橋慧多、小林彩花）、常任委員（高橋慧多、櫻井新大、小林彩花、戸井理道、福島結太、福地理史、浜崎優太、安藤葵）の皆様

長より、評議員（高橋慧多、小林彩花）、常任委員（高橋慧多、櫻井新大、小林彩花、戸井理道、福島結太、福地理史、浜崎優太、安藤葵）に、委嘱状の贈呈が行われ、一名ずつ、委嘱状を手渡していただきました。委嘱状の授与後、新たに評議員となった高橋慧多さん、小林彩花さんから、75回生を代表してこれらの同窓会員として積極的に活動に関わって行きたいという決意が述べられました。

式の最後に壇上では、75回生の旗（同期会の旗）が披露される中で、整列した評議員と常任委員の皆さんに対して、大きな激励の拍手が送られ、これから同窓会の一員となる三年生と、同窓会との絆が深まった会となりました。（齋藤 雅樹 記）



佐藤一郎同窓会会長より高75回評議員の委嘱状を授与される小林彩花さん。

### 令和四年度 第75回卒業式

令和五年三月一日、卒業生の輝ける未来を暗示するかのような快晴の青空の下、第75回宮城県仙台第二高等学校卒業式が挙行されました。昨年までは新型コロナウイルス感染症防止の対策として入場制限を設けておりましたが、今回は緩和され、保護者や佐藤一郎会長をはじめとご来賓、そして教職員の参加という形式になりました。また、卒業生も基本マスクなしでの出席となり、久しぶりに卒業生の顔が見える式となりました。保護者や教職員が拍手で迎える



高橋賢校長先生から卒業証書を授与される高75回卒業生

中、スーツ姿や晴れ着などに思いの服装をした卒業生が入場し、開会の辞、国歌斉唱の後、卒業生がクラス毎に一人一人呼名され、クラス代表に卒業証書が授与されました。呼名に応えて返事をする卒業生は北陵健児らしい意気揚々としたものでした。

その後、高橋賢校長から、「卒業生の皆さんは、コロナ禍でもルールを守り、さまざまな活動を、我慢しながら過ごして来たことに感嘆しました。この経験を記憶に残しておいてほしい。そして、卒業後もどんな事でも最善を尽くしてほしい、人を大切にし、感謝の気持ちを持ってほしい。」という、



祝辞を述べられる佐藤一郎同窓会会長

心温まる式辞が述べられました。佐藤一郎会長からは、「真の自己探究に励み、周りの人々の心身の痛みを和らげようと励み、未来の地球社会に貢献しようとする人間として成長してほしい。」と祝辞をいただきました。

在校生代表、卒業生代表の挨拶、校歌斉唱後、閉式の辞をもって無事に卒業式は終了いたしました。その後、卒業生の退場前に、3年生の保護者代表からの学校側への感謝の言葉のあと、お世話になった教職員の皆様へ、卒業生から花束と記念品の贈呈が行われ、受け取っていた教職員の笑顔が印象的でした。

最後に応援団長が壇上に立ち、卒業生とともに学校にエールと「雨か嵐か」を送るといふサプライズが行われ、卒業生は別れを惜しみながらもどこか晴れ晴れとした表情で会場を後にしました。(齋藤 雅樹 記)

### 令和五年度 入学式

二〇二三年四月十日、新入生の輝かしい未来を暗示するかのような青空の下、令和五年度入学式が執り行われました。本年度の入学者総数は三三〇名となりました。昨年度までは新型コロナウイルス対策のため、新入生と教職員だけが講堂で式を行い、保護者の方々にはリモートでの対応をお願いしていたのですが、本年度は父兄も2名まで講堂に入場可能となり、久しぶりに多くの人が集まった入学式となりました。同窓会からは佐藤一郎会長をはじめ佐藤裕洋副会長、千田耕一副会長、小野寺満

明副会長が参列されました。来賓の皆様や多くの父兄が見守り、今年度から復活した吹奏楽部のみなさんの演奏の中、新入生の入場の後、開式の辞により式が始まり、国歌演奏、そして、各クラス担任により新入生の呼名が行われ、一人ひとり元気な声で返事をし、起立する様子を、父兄の皆様も優しい眼差しで見守っておりました。高橋賢校長の式辞には、「高校生生活を一日一日大切に過ごし、何事にもチャレンジしてください。」という新入生に向けたメッセージがありました。つづけて新入生代表生徒の宣誓では、これから高校生として過ごすことへの誓いが元氣よく述べられました。佐藤一郎



呼名されて元気に返事をしながら起立する新入生

同窓会会長による祝辞では、「仙台二高での三年間、勉学に、スポーツをはじめとする部活動に文武一道、仲間とともに真摯に励んでください。」というメッセージをいただきました。佐藤一郎会長の祝辞ののち、PTA会長菅原様よりお言葉をいただき、最後に、校歌披露として、合唱部のみなさんがステージ上にあがり、吹奏楽の演奏の中、校歌を合唱が行われました。新入生のみなさんも緊張のなか初めて聞く校歌を聞いておりました。新型コロナウイルスの影響も少しずつですが緩和され、これからの高校生活をより豊かに送れるような、そんな期待も込めた入学式となりました。

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。(齋藤 雅樹 記)

在籍生徒数 2023年 4 月 1 日 現在  
普通科 1 学年 8 クラス (定員320名)

	男子	女子	計
1 学年	179	144	323
2 学年	170	149	319
3 学年	164	150	314
計	513	443	956



### 大運動会を終えて

三年四組 大運動会実行委員長  
竜騰虎闘北陵健児

荻野 秀飛

新型コロナウイルスの影響で延期されたというハプニングは何処へやら、私たち北陵健児は令和五年五月十一日に仙台二高グラウンドで春の運動会を行いました。私たち体育委員会は「竜騰虎闘」(互角の力を持ったもの同士が力を尽くしてたたかうこと)というスローガンを掲げてこの運動会を準備してきました。その中で気づいたことが二つあります。

一つ目は、二高生の団結力はすごいんだということです。綱取りの前やクラスごとの円陣が今体育大会では見られませんでした。さらには、各種委員会や部活ごとで仕事を分担して、効率的に行うことで、運動会を大成功させることができました。各種委員会、各部活動さんにはとても感謝しています。

二つ目は、私が選手宣誓でSNSに運動会関係を投稿する際は、「#委員長ありがとう」というものを入れてくださいと



頼んだところ、学校中の人がこれを入れてくれました。ここで私は二高生はみんな優しいんだということに気づきました。文化祭とかでもこの制度を採用してください。しかし、運動会を成功させた要因には、体育委員会や総務、先生方などの私以外の方も関わっているの、皆さんにありがとうです。

最後に、人生最後の高校生活での運動会を大成功に終わらせてよかったです。来年は大学に合格してこの体育祭に顔を出したいです。

### 囲碁部

### 勝利を期して 意気高く

(全国制覇を成し遂げて)

三年二組 三浦 颯

私たち囲碁部員にとって、令和四年度はかけがえのない一年となりました。夏休みに東京で行われた文部科学大臣杯の男子団体戦。各都道府県の精鋭が集う場で、私たちは前回優勝校をはじめとする強豪を退け、八年振り二度目の全国制覇を成し遂げました。優勝直後はあまり実感が湧きませんでした。だが、宮城に戻り多くの方から喜びの声をいただく中で、その重みをひしひしと感じています。「文武一道」の理念の下、多くの先輩方が築き上げてきた仙台二高の輝かしい歴史に新たな一ページを記すことができ、嬉しい気持ちで一杯です。

年が明け、三月には大阪で春の選抜大会が開催されました。全六部門で行われるこの大会において、仙台二高は東北地区代表として五部門の出場権を獲得。男女あわせて七名が参加しました。

東北勢で初の優勝、そして夏と春の二冠を目指した男子団体戦は、迎え撃つ側へと立場が変わり、多くの苦しい場面に立たされました。お互いを信じ粘り強く戦ったものの、二回戦で今大会の優勝校

に敗れたこともあり、最終成績は三勝一敗の四位入賞という悔しさの残るものとなりました。一方、個人戦では女子が一部門で全国優勝、男子も三位入賞という好成績を収めることができました。部の強みである和気藹々とした空気を大切に、大会前には皆で対策を練り、一丸となって努力したことが今回の結果に繋がったのだと思います。

今年度は、ディフェンディングチャンピオンとして大会に臨む一年間になります。周回から向けられる目は一層厳しくなると思いますが、前年度覇者としてそれに負けないプライドを持ち、更なる高みを目指して、断乎と進んでいこうと思います。

### 同窓生からの 寄贈本の紹介

- 『「新世」科学技術史で読み解く人間の地質時代』  
東海大学出版部 平 朝彦氏(高17回)
- 『東北画人基礎資料集』 星 江里子氏(高73回)
- 『地おどろ海おどろ』 加藤 邪吞(文彬)氏(高11回)
- 『日本と世界を騙しに騙した中共の正体』落合 道夫氏(高14回)
- 『誰も書かなかったリベラルの正体』落合 道夫氏(高14回)
- 『あなたの旅立ちには未来の可能性につながる』  
堀田壽一氏(高7回)、著者(高18回)／兄弟
- 『人から人への交易』堀田壽一氏(高7回)、著者(高18回)／兄弟
- 『私の教育哲学』 西方 守氏(高25回)
- 『夢幻 安藤ジロー句集(川柳句集)』 安藤 二郎氏(高11回)
- 『決定版南京事件はなかった』 阿羅 健一氏(高14回)
- 『決定版「南京事件」日本人50人の証言』 阿羅 健一氏(高14回)
- 『常用字典』ほか計81冊 寺嶋 一夫氏(高12回)
- 『日本の淡水プランクトン』ほか計102冊 寺嶋 一夫氏(高12回)

仙台「高創立記念講演

「地球深部探査船「ちきゅう」の挑戦」

平 朝彦氏（高17回）



責任者となり、南海トラフ地震発生帯掘削計画を統括し、統合国際深海掘削計画を推進。その後、平成二四年海洋研究開発機構理事長。平成三〇年フランススレジオンドヌール勲章シュバリエ。令和五年瑞宝中綬章。」

令和五年度創立記念日である五月一日午後一時半より、平朝彦（高17回）東海大学海洋研究所長「地球深部探査船「ちきゅう」の挑戦——地球と人間の共生を目指して——」と題する講演が開催された。

コロナ禍、インフルエンザもあり、危ぶまれていたが、高橋賢校長が、平朝彦東京大学名誉教授を紹介し、略歴を述べた。

「東北大学理学部卒業後、テキサス大学に留学し、帰国後昭和五二年高知大学助教授を経て、昭和六〇年三八歳で東京大学海洋学研究所教授。平成一四年日本地質学会会長、平成十六年独立行政法人・海洋研究開発機構地球深部探査センター初代センター長。平成十九年「プレート沈み込み帯における付加作用の研究」により日本学士院賞を受賞。同年、運用の

少年時代、松島湾において化石採掘の面白さに引き込まれ、仙台二高に在学中はヨット部に所属していた。十代での海洋体験の積み重ねが、その後の平朝彦少年の歩みを定めているかのように思えた。講演内容をまとめると、①ウエゲナーの『大陸と海洋の起源』(Wegener, 1915)が二十世紀中期には再認識され、大陸移動説はその後のプレートテクトニクス移動説を導いた。そのような時代背景のもと、アメリカ留学後、高知大学での八年間は、学生と共に、四万十帯の褶曲地層の重層構造を観察し、生成・構造発達史を研究する。深海の化石の研究とプレートテクトニクスに基づくダイナミックな日本列島誕生のシナリオを解き明かした。すなわち、日本列島・大陸地殻の形成論を実証研究し、海溝で大陸

プレートの下に沈み込む際に、海洋プレートの上の堆積物がはぎ取られ、陸側に付加したことを解明した。地質学研究における革命的成果といえよう。

②海洋研究開発機構(JAMSTEC)地球深部探査センター初代センター長、続いて理事長として、マネージメントを発揮し、地球生命科学・掘削科学分野を切り開いている。日本代表として国際的海洋科学掘削計画を長年主導し、「ちきゅう」による深海での科学掘削を行い、海底下の岩石試料を採取し、また掘削孔内に計測装置を設置し、長期観測し、地震発生過程の解明や地震発生地の地球環境変動の研究を推進した。

③安全・安心な社会構築のための科学技術という観点から海洋・地球・人間の統合的理解の推進を進めてきている。



講堂：平朝彦東京大学名誉教授講演に対する杉田知泰生徒会長の謝辞。

未来を担うにちがいない、仙台二高九〇〇人をこえる生徒に、期待を込めて、次のように結んだ。「近年、人間活動による急激な変化、人間と機械（スマホ、人工知能など）の未来がどうなるのか、誰もが不安を抱く時代となった。今こそ、私たちの住居である地球とそこに生きる生命そして人間として深く理解し、共感に満ちた人間力を育て、自然科学、人文科学。社会科学と技術を統合したリベラルアーツ（教養）を創成し、それを人類の共通言語とすべ



校長室：左より、佐藤裕洋副会長、平朝彦東海大学海洋研究所長、佐藤一郎会長、高橋賢校長

きである。美しくも厳しい自然の中から文化を育ててきた私たち、特に君たちが、このリベラルアーツ創成の先頭に立つべきである。」講演後、「座右の銘は、なにか」という質問、しばらく考えてから西澤順一先生の言葉が元ネタですが「真理は机上にあらずして、フィールドにあり」と答える。最後に、杉田知泰（二年生）生徒会長から、プレートテクトニクス移動など、講演内容を辿りながらの丁寧な謝辞と、花束贈呈があった。（佐藤 一郎 記）

## 2023年度 同窓会総会のご案内

### 1. 日 時：2023年 7 月 1 日（土）

総会・講演・アトラクション 17時～18時30分（受付開始は16時30分）

懇親会 18時30分～20時30分

総会・講演会はライブ配信致します。下記のアドレスに入って是非ご覧下さい

[https://youtube.com/live/Pwq\\_Itd7HBw?feature=share](https://youtube.com/live/Pwq_Itd7HBw?feature=share)

### 2. 場 所：江陽グランドホテル<地下鉄南北線広瀬通駅下車 西1番出口徒歩0分>

### 3. 懇親会会費：7,000円

### 4. 関連企画

☆母校内ツアー（13：00～）今年は復活しました

☆特別講演

講師：東北大学大学院経済学研究科教授

小田中直樹氏（高34回）

演題：『二一世紀における二高の役割：

卒業生・同窓生・卒業生受入側の立場から』

<講師略歴>

1991年 3 月 東京大学 大学院経済学研究科第二種博士課程 修了

1991年 4 月 東京大学社会科学研究所 助手

1994年 1 月 東北大学経済学部 助教授

2005年10月 東北大学大学院経済学研究科 教授

2008年 4 月 レヌ第2大学（フランス） 西部歴史研究センター

（2017年 4 月～歴史科学ラボ） 客員研究員（継続中）

質問があればメールでお寄せ頂いても構いません。

講演時に小田中さんに答えていただこうと考えております

（メールアドレス：info@sendainiko-dousoukai.com）



（東北大学HPより転載）

### 4. 申込締切：6月23日（金）

★出席申込は、下記の申込先へ電話、FAXまたはEメールでお願いします。

### 5. 申込先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1

仙台二高同窓会事務局（月・水・金 10：00～15：00）

T E L 022-221-5651

F A X 022-221-5686

Eメール info@sendainiko-dousoukai.com

### 6. 当番回期：高34・35・46・47・58・59回

上記回期の方々は、評議員・常任委員を

中心にご協力をお願いいたします。

☆PTA・同窓会新年合同懇親会  
（高74回二十歳を祝う会）のご案内☆

2024年 1 月 6 日（金）

会場は例年通り、  
江陽グランドホテルで調整中です。

当番回期：高 35・36・47・48・59・60 回

過去 3 年間の大学入試合格状況

( ) 内は現役内数

大学	年度別	R5年3月	R4年3月	R3年3月	大学	年度別	R5年3月	R4年3月	R3年3月	大学	年度別	R5年3月	R4年3月	R3年3月	
		合格者数	合格者数	合格者数			合格者数	合格者数	合格者数			合格者数	合格者数	合格者数	
国立大学		216 (146)	232 (155)	232 (149)	はこだて未来大			2 (2)		津田塾大		2	2 (2)	6 (5)	
公立大学		19 (12)	25 (17)	9 (7)	宮城大		2 (2)	5 (2)	2 (1)	帝京大		1 (1)			
私立大学		456 (199)	414 (209)	391 (164)	国際教養大			1 (1)	2 (2)	東海大			3		
大学校・専修・その他の学校		1 (1)	10 (5)	3 (3)	秋田県立大		1 (1)			東京家政大			1 (1)	1	
総計		692 (357)	681 (386)	635 (323)	会津大		1 (1)			東京経済大				1 (1)	
国立大学	旭川医大	2	1		福島県医科大		3 (1)	5 (2)	3 (2)	東京工科大			1 (1)		
	帯広畜産大	1 (1)			高崎経済大			3 (3)		東京女子大		1 (1)	1		
	北海道大	7 (5)	8 (5)	7 (5)	埼玉県立大			1 (1)		東京女子医科大			1	2	
	弘前大	1	4 (3)	5 (2)	前橋工科大		1	1 (1)		東京造形大		1			
	岩手大	8 (7)	4 (3)	5 (4)	東京都立大		5 (4)	3 (3)		東京電機大		2			
	東北大	文	6 (6)	7 (7)	4 (3)	横浜市立大		1	1 (1)		東京都市大		10 (1)		
		法	6 (5)	5 (4)	6 (4)	新潟県立大		1 (1)			東京農業大		2	3 (2)	4 (1)
		経 済	7 (6)	14 (12)	6 (6)	都留文科大				1 (1)	東京薬科大				1
		教 育	1 (1)	1 (1)	3 (1)	諏訪東京理大		1 (1)			東京理科大		44 (9)	47 (15)	41 (15)
		理	4 (1)	8 (5)	6 (2)	静岡県立大			1		東 邦 大			2 (1)	1
		工	24 (18)	31 (21)	31 (25)	大阪公立大学		1	2 (1)		東 洋 大		8 (6)	4 (3)	8 (3)
		医 医	14 (9)	10 (7)	14 (12)	兵庫県立大学		1 (1)		1 (1)	日 本 大		17 (7)	5 (3)	10 (2)
		保	5 (4)	8 (8)	11 (6)	九州 歯 大		1			日本医科大		1		
		歯	4 (2)	2 (2)	4 (2)	公立大学合計		19 (12)	25 (17)	9 (7)	日本歯科大		1 (1)		
		薬	2 (2)	6 (2)	5 (3)	国公立大学合計		235 (158)	257 (172)	241 (156)	日本女子大		1 (1)	3 (1)	1 (1)
	農	3 (1)	7 (4)	6 (5)	北海道医療大			1 (1)		日赤看護大		1 (1)			
	東北大小計	76 (55)	99 (73)	96 (69)	酪農学園大		3 (2)	3 (1)	1 (1)	法 政 大		36 (15)	26 (12)	32 (12)	
	宮城教育大	1	6 (4)	8 (4)	岩手医科大		3	6	3 (1)	星 薬 大			1		
	秋 田 大	7 (4)	6 (2)	4 (4)	東北学院大		38 (20)	8 (7)	17 (10)	武 蔵 大			2 (2)	1 (1)	
	山 形 大	41 (24)	25 (12)	27 (16)	東北工業大		2	6 (5)	1 (1)	武 蔵 野 大		5 (5)	1		
福 島 大	4 (4)		2 (2)	東北福祉大		9	2	3 (1)	武蔵野美術大				2 (2)		
茨 城 大	3 (3)	1 (1)	1 (1)	東北医科薬科大		26 (10)	24 (10)	25 (9)	明 治 大		32 (12)	39 (25)	34 (8)		
筑 波 大	4 (4)	6 (6)	6 (5)	東北文化学園大				1	明治学院大		2 (1)	2 (2)	5 (4)		
宇 都 宮 大		1	1 (1)	宮城学院女子大		2 (2)	1		明 治 薬 大			1			
群 馬 大		1		東北芸術工科大		2 (1)			立 教 大		9 (4)	11 (4)	5 (2)		
埼 玉 大	4 (2)	3	4 (2)	奥 羽 大		1	2 (1)		立 正 大		3 (3)				
千 葉 大	3 (3)	4 (4)	6 (3)	国際医療福祉大		4 (3)	3 (1)	2	早 稲 田 大		18 (14)	27 (21)	20 (13)		
東京海洋大	1	1	1 (1)	自治医科大		2 (1)		2 (1)	東京医療学院大			1 (1)			
お茶の水女子大		1 (1)	2 (2)	獨協医科大		3	1		麻 布 大			1			
電気通信大	2 (2)	1	2	明 海 大			1 (1)		デジハリ大				1 (1)		
国立大学	文 I		3 (3)		埼玉医大		2 (1)		1	神奈川大		3 (1)	2 (1)	1	
	文 II		2 (2)	2 (1)	文教大		1			昭和音大			1		
	文 III	2 (1)		1	神田外語大			1 (1)	2	松本歯大			1 (1)		
	理 I	3 (3)	5 (4)	7 (6)	千葉工大			3 (1)	5	愛知医大		1			
	理 II	2	2 (2)	3 (2)	千葉科学大		1			豊田工大			2 (1)	1	
	理 III				帝京平成大			2 (2)		藤田医大		1			
	東京大小計	7 (4)	12 (11)	13 (9)	青山学院大		13 (8)	6 (4)	12 (6)	京都外大		1			
	東京医歯大	1 (1)	1 (1)		桜美林大		2 (2)			同志社大		1	8 (4)	7 (3)	
	東京外語大	3 (2)	1 (1)	3 (2)	大妻女子大				1	立命館大		7 (2)	14 (6)	12 (6)	
	東京学芸大	5 (5)	1 (1)	2 (2)	学習院大			1 (1)		龍 谷 大			2 (2)	1 (1)	
東京芸術大			1 (1)	北 里 大		5 (2)	4 (1)	2	関西外語大			2 (1)	2		
東京工業大	5 (2)	3 (2)	3 (1)	杏 林 大			1		関 西 大		1 (1)	3 (1)			
東京農工大	1 (1)	6 (4)	2	慶應義塾大		16 (9)	13 (8)	16 (6)	関西学院大		3	2 (1)	4 (1)		
一 橋 大	4 (4)	5 (4)	1 (1)	工学院大			2	1	近 畿 大		4 (4)	3	2		
横浜国立大	1	4 (3)	1 (1)	國學院大		2 (2)		2 (2)	久留米大				1		
新 潟 大	5 (2)	8 (6)	9 (4)	駒 澤 大		8	5 (2)	4 (4)	産 業 医 大		1 (1)				
富 山 大	1 (1)		2	実践女子大				1	私立大学合計		456 (199)	414 (209)	391 (161)		
金 沢 大	1 (1)	1	2 (2)	芝 浦 工 大		23 (8)	23 (1)	9	防衛大学校		3 (2)		2 (1)		
信 州 大	2	1 (1)		順 天 堂 大		2 (1)	3 (1)	1	防衛医科大			5 (2)			
静 岡 大	1 (1)	1		上 智 大		9 (2)	14 (14)	7 (3)	航空保安大学校			1			
名古屋大	1	1	1 (1)	昭 和 大			3		水産大学校		1				
三 重 大	1			昭和女子大		1 (1)	1		気象大学校			1			
京 都 大	6 (4)	8 (3)	11 (2)	白百合女子大			2 (2)		大学校合計		4 (2)	7 (2)	2		
京都工芸繊維大		1 (1)		成 蹊 大		3 (3)	6 (5)		大学・短大・専門		1 (1)	3 (3)	2 (2)		
大 阪 大	4 (4)	1	1	成 城 大		1	1	1 (1)	その他合計		1 (1)	3 (3)	1 (1)		
神 戸 大		1		聖心女子大			2 (2)								
広 島 大	1			大東文化大			2								
九 州 大	1	2 (2)	2 (1)	専 修 大		3									
長 崎 大		1 (1)	1 (1)	大 正 大		1 (1)									
大 分 大		1		多摩美術大				5 (4)							
国立大学合計		216 (146)	232 (155)	232 (149)	中 央 大		48 (20)	36 (22)	49 (29)						

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
陸 上 競 技 部	令和 4 年度東北高等学校陸上競技選手権大会 (6/14~6/17) 男子400mH 香川幹央 女子200m 白鳥名花 女子400m 小坪理桜 白鳥名花 女子800m 伊東奏音 女子4×100mR 金森美紀 小坪理桜 墨谷友美 白鳥名花 女子4×400mR 白鳥名花 小坪理桜 加藤乃愛 伊東奏音 以上 準決勝進出 令和 4 年度宮城県陸上競技選手権大会 (7/7~7/9) 一般女子400m 第 3 位 小坪理桜 一般女子4×100mR 第 4 位 虎岩あかり 小坪理桜 墨谷友美 白鳥名花 少年男子B走幅跳 第 4 位 川又宏 一般女子800m 第 5 位 伊東奏音 一般女子200m 第 6 位 白鳥名花 一般男子400mH 第 7 位 香川幹央 第53回東北陸上競技選手権大会 (8/20~8/21) 女子4×100mR 第 1 位 宮城選抜チーム (4走 白鳥名花) 女子4×400mR 第 2 位 宮城選抜チーム (4走 小坪理桜)	硬 式 野 球 部	第16回春季宮城県高等学校野球中部地区大会 (4/17~5/5) 2 回戦 仙台二 3 - 7 仙台三 敗者復活 1 回戦 仙台二 5 - 3 泉 敗者復活 2 回戦 仙台二 3 - 6 東北生文大 (延長13回タイブレーク) 第104回全国高等学校野球選手権 宮城大会 (7/5~7/27) 1 回戦 仙台二 1 - 6 高専名取 第75回秋季東北地区高等学校宮城県大会 (9/3~9/24) 1 回戦 仙台二 6 - 1 宮城広瀬 2 回戦 仙台二 5 - 2 村田 3 回戦 仙台二 2 - 1 古川 準々決勝 仙台二 0 - 14 東北 (5 回コールド) ベスト 8
	令和 4 年度宮城県高等学校新人陸上競技大会 (9/7~9/10) 男子400mH 第 1 位 香川幹央 女子400m 第 3 位 白鳥名花 女子800m 第 3 位 伊東奏音 女子4×400mR 第 3 位 加藤乃愛 伊東奏音 安藤ななみ 小坪理桜 女子2000mSC 第 4 位 佐藤妃奈乃 女子3000m 第 7 位 東海林雪乃 女子三段跳 第 7 位 坂本彩紗 女子800m 第 8 位 安藤ななみ 女子1500m 第 8 位 佐藤妃奈乃 令和 4 年度東北高等学校新人陸上競技大会 (9/28~9/30) 男子400mH 第 4 位 香川幹央 女子4×400mR 第 4 位 白鳥名花 小坪理桜 加藤乃愛 伊東奏音 女子400m 第 5 位 白鳥名花 女子2000mSC 出 場 佐藤妃奈乃 令和 4 年度宮城県高等学校駅伝競走大会 (10/29) 女子 第 6 位 東海林雪乃 安藤ななみ 伊東奏音 佐藤楓花 佐藤妃奈乃		第17回春季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 (5/21~5/28) 1 回戦 仙台二 4 - 3 仙台一 2 回戦 仙台二 6 - 0 泉 準決勝 仙台二 2 - 4 東北学院 第67回全国高等学校軟式野球選手権宮城県大会(7/1~7/7) 2 回戦 仙台二 4 - 1 仙台 準決勝 仙台二 2 - 4 仙台商 第63回秋季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 (10/5~10/12) 2 回戦 仙台二 0 - 7 仙台商 (7 回コールド)
	令和 4 年度宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技 (5/24~5/29) 1 回戦 仙台二22-0 中新田 2 回戦 仙台二 2 - 1 富谷 3 回戦 仙台二 1 - 7 東北学院 県ベスト16 宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技 (5/21~10/10) 予選リーグ 仙台二 4 - 3 仙台三II 仙台二 7 - 1 生文高II 仙台二 0 - 2 聖和学園IV 仙台二 1 - 5 仙台商業 仙台二 8 - 0 佐沼 全国高校サッカー選手権大会宮城県大会一次予選 (7/14) 本戦出場決定戦 仙台二 1 - 0 石巻工業 全国高校サッカー選手権大会宮城県大会決勝トーナメント (10/22) 1 回戦 仙台二 1 - 2 古川黎明 宮城県高等学校新人大会サッカー競技 (11/9~11/12) 2 回戦 仙台二 3 - 1 塩釜 3 回戦 仙台二 1 - 2 高専名取		サ ッ カ ー 部
	令和 4 年度宮城県春季ハンドボール選手権大会(4/22~4/24) 1 回戦 仙台二21-17仙台東 2 回戦 仙台二25-15泉松陵 準々決勝 仙台二17-25仙台三 【ベスト8】 第71回宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技会 (6/4~6/6) 1 回戦 仙台二22-15仙台一 2 回戦 仙台二23-14東北 準々決勝 仙台二18-29仙台三 【ベスト8】 第78回国民体育大会ハンドボール競技少年の部宮城県第 1 次予選会 (7/22~7/24) 1 回戦 仙台二18-11古川 2 回戦 仙台二16-24利府 令和 4 年度宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 (11/3~11/5) 2 回戦 仙台二13-11仙台三 準々決勝 仙台二22-20古川学園 準決勝 仙台二 8 - 29聖和学園 【第 3 位】 全国高等学校ハンドボール選抜大会宮城県二次予選会 (12/26~12/27) 仙台二16-22聖和学園 仙台二19-26利府 仙台二15-24仙台一 【第 4 位】		ラ グ ビ ー 部
	令和 4 年度宮城県春季陸上競技選手権大会 (4/30) 女子800m 第 3 位 伊東奏音 令和 4 年度宮城県高等学校陸上競技選手権大会(5/21~5/24) 女子400m 第 2 位 小坪理桜 女子4×400mR 第 2 位 加藤乃愛 小坪理桜 白鳥名花 伊東奏音 女子400m 第 3 位 白鳥名花 男子400mH 第 4 位 香川幹央 女子800m 第 4 位 伊東奏音 女子4×100mR 第 6 位 金森美紀 白鳥名花 小坪理桜 墨谷友美 男子八種競技 第 6 位 梅井康希 男子4×400mR 第 7 位 吉田和史 鏡武蔵 福島結太 香川幹央 女子400m 第 8 位 加藤乃愛		陸 上 競 技 部
	令和 4 年度宮城県高校総体バスケットボール競技仙塩地区予選会 (5/7~5/10) 〔女子〕予選リーグ 仙台二46-51東北生文大 代表決定トーナメント 仙台二79-34仙台西 県大会出場 第71回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 (6/3~6/6) 〔男子〕 2 回戦 仙台二86-63白石 3 回戦 仙台二74-109東北 〔女子〕 2 回戦 仙台二59-51気仙沼向洋 3 回戦 仙台二44-78尚綱		バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
バドミントン部	宮城県高等学校体育連盟バドミントン専門部 (11/3) 優秀選手賞 正岡 鴻 功労賞 中嶋優太 功労賞 若生千暖		第44回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次大会 (7/19~7/20) 〔男子〕 1 回戦 仙台二58-76柴田 令和 4 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 仙塩地区予選会 (10/29~11/9) 〔男子〕 予選リーグ 仙台二60-51仙台向山 仙台二 41-114東北 代表一次トーナメント 仙台二53-77仙台城南 県大会出場
	春季ジュニアテニス大会 男子シングルス ベスト32 寺澤俊太 村上尚之 男子ダブルス ベスト16 村上尚之・寺澤俊太 県高校総体 男子団体 ベスト 8 高岡隆作 寺澤俊太 村上尚之 岩田陸斗 星野崇史 女子団体 ベスト16 菅原彩乃 熊谷真裕奈 増本明里 佐々木麗 小堀歩乃佳 女子シングルス 第 6 位 小堀歩乃佳 男子ダブルス ベスト16 寺澤俊太・村上尚之 国体予選 少年女子 ベスト16 小堀歩乃佳 夏季ジュニアテニス大会 女子シングルス ベスト 4 小堀歩乃佳 男子シングルス ベスト32 大江遙士 久保聡太 県新人戦 男子団体 ベスト 8 大江遙士 星野崇史 久保聡太 大内慧太 井上航希 桜井清星 野呂理月 繁田滉生 遠藤瑛大 女子団体 ベスト16 佐々木麗 佐藤風花 林 ゆい 小堀歩乃佳 二戸杏花 神野由羽 花房華穂 女子シングルス 第 6 位 小堀歩乃佳 男子シングルス ベスト32 桜井清星 男子ダブルス ベスト16 大江遙士・桜井清星 冬季ジュニアテニス大会 女子シングルス 第 5 位 小堀歩乃佳(東北大会へ出場) 男子シングルス ベスト32 久保聡太 桜井清星 女子ダブルス 第 3 位 小堀歩乃佳(東北大会へ出場) 男子ダブルス ベスト16 星野崇史・久保聡太 東北インドアテニスジュニア選手権大会 女子ダブルス ベスト 8 小堀歩乃佳	バスケットボール部	〔女子〕 予選リーグ 仙台二25-128東北 仙台二69-65泉松陵 代表一次トーナメント 仙台二50-38宮城広瀬 仙台二60-56仙台 県大会出場 令和 4 年度 宮城県高等学校新人バスケットボール大会 (1/19~1/22) 〔女子〕 2 回戦 仙台二68-28中新田・加美農業・松山 3 回戦 仙台二22-117尚綱 (1/28~1/29) 〔女子〕 1 回戦 仙台二72-55宮城広瀬 2 回戦 仙台二27-127常盤木
テニス部			第71回宮城県高等学校総合体育大会 (6/4~6/6) 男子： 1 回戦 仙台二 2 - 0 加美農 2 回戦 仙台二 0 - 2 学院榴ヶ岡 女子： 1 回戦 仙台二 0 - 2 東北生文大高 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表決定戦 兼 第45回仙台放送杯争奪宮城県大会 一次予選 (9/10~9/11) 男子： 1 回戦 仙台二 2 - 0 石巻 2 回戦 仙台二 2 - 0 泉館山 3 回戦 仙台二 2 - 1 名取 宮城県最終予選進出決定 女子： 1 回戦 仙台二 2 - 0 柴田農 2 回戦 仙台二 0 - 2 志津川 第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会宮城県代表決定戦 兼 第45回仙台放送杯争奪宮城県大会 宮城県最終予選 (10/27~10/29) 男子： 1 回戦 仙台二 1 - 2 柴田 惜敗 令和 4 年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 (1/20~1/23) 男子： 1 回戦 仙台二 2 - 0 仙台城南 2 回戦 仙台二 0 - 2 仙台育英 女子： 1 回戦 仙台二 2 - 1 石巻西 2 回戦 仙台二 0 - 2 仙台東
	仙塩地区公立高校ソフトテニス大会 (4/10) 女子 団体Aブロック 優勝 令和 4 年度宮城県高等学校ソフトテニス春季大会(4/27~4/28) 男子個人 藤田(幹)・木村 2 回戦敗退 熊谷・浜崎 小野寺・藤田(英) 加納・谷口 1 回戦敗退 令和 4 年度宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技仙塩地区予選 (5/14, 16) 藤田(幹)・木村, 小野寺・藤田(英) 県大会出場 第71回宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技(6/4~6/6) 男子団体 仙台二1-②佐沼 1 回戦敗退 男子個人 藤田(幹)・木村 2 回戦敗退 小野寺・藤田(英) 1 回戦敗退 女子団体 ベスト8 第26回宮城県高等学校ソフトテニス夏季大会 (8/10~8/12) 男子 熊谷・本田 4 回戦敗退 鈴木・佐々木 3 回戦敗退 小野寺・藤田, 金・武田, 谷口・菊地, 加納・清水 2 回戦敗退 山田・鹿戸, 三島・阿部 1 回戦敗退 女子 ベスト 16 遠藤(2)・打矢(2) 第 2 回宮城県公立高等学校ソフトテニス女子学校対抗戦(9/10) 女子 団体 優勝 第59回仙台市民総合体育大会 (10/1) 高校生の部女子 第 3 位 遠藤(2)・打矢(2) 令和 4 年度宮城県高等学校ソフトテニス新人大会仙塩地区予選 (10/12~10/13) 熊谷・本田, 小野寺・武田 県大会出場 令和 4 年度宮城県高等学校ソフトテニス新人大会(11/1~11/3) 男子個人 小野寺・武田 1 回戦敗退 熊谷・本田 2 回戦敗退 男子団体 仙台二1-②仙台三 1 回戦敗退 女子団体 ベスト 8 女子個人 ベスト 8 遠藤(2)・打矢(2) 令和 4 年度宮城県高等学校ソフトテニスインドア大会 (12/23~12/25) 女子個人戦 ベスト 8 遠藤(2)・打矢(2) 女子団体 予選リーグ敗退	バレーボール部	令和 4 年度高校総体 個人対抗戦 (5/19~5/20) 男子ダブルス 立花・中嶋組 2 回戦敗退 佐藤・山口組 2 回戦敗退 鈴木・坂田組 2 回戦敗退 正岡・小寺組 2 回戦敗退 男子シングルス 正岡 2 回戦敗退 小寺 2 回戦敗退 立花 初戦敗退 鈴木 初戦敗退 女子ダブルス 若生・高橋組 2 回戦敗退 大江・遠藤組 初戦敗退 大槻・鈴木組 初戦敗退 井上・遠藤組 初戦敗退 女子シングルス 若生 2 回戦敗退 高橋 2 回戦敗退 大槻 初戦敗退 大橋 初戦敗退 令和 4 年度高校総体 学校対抗戦 (6/7~6/9) 男子 1 回戦 仙台二 3 - 2 仙台二華 2 回戦 仙台二 0 - 3 宮城工 女子 1 回戦 仙台二 3 - 2 宮城広瀬 2 回戦 仙台二 2 - 3 登米 令和 4 年度新人大会1次予選会 兼 宮城県ジュニアバドミントン選手権大会 (7/30~8/3) 男子ダブルス 小寺・富永組、佐藤・石塚組、 笹森・山家組 ベスト64 男子シングルス 小寺 ベスト64 女子ダブルス 井上・遠藤組 ベスト64 令和 4 年度新人大会 個人対抗戦 (10/24~10/25) 男子ダブルス 山口・坂田組 ベスト64 小寺・富永組 2 回戦敗退 佐藤・佐藤組 初戦敗退 男子シングルス 小寺 ベスト64 富永 2 回戦敗退 女子ダブルス 井上・遠藤組 ベスト64 大橋・鈴木組 初戦敗退 宮城 初戦敗退 令和 4 年度新人大会 学校対抗戦 (11/3~11/5) 男子 1 回戦 仙台二 乗権 仙台城南 2 回戦 仙台二 0 - 3 佐沼 女子 2 回戦 仙台二 1 - 3 築館
ソフトテニス部		バドミントン部	

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
卓 球 部	女子学校対抗 予選トーナメント 2 回戦 仙台二 3 - 2 仙台商 県大会出場決定	水 泳 部	第71回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会 (6/24~6/27)
	決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 3 - 0 宮城一 2 回戦 仙台二 2 - 3 利府 惜敗		男子50m自由形 高橋俊太郎① 決勝第 4 位 東北大会出場
	男子シングルス 渡邊③, 今岡③, 薄木③, 川村壮②, 小杉② 県大会出場決定		男子100m自由形 高橋俊太郎① 決勝第 2 位 東北大会出場
	男子ダブルス 薄木③・川村壮② 県大会出場決定		女子200m平泳ぎ 阿部未梨③ 決勝第 6 位 東北大会出場
	女子シングルス 石井③, 境③, 鈴木悠②, 木下② 県大会出場決定		男子200m背泳ぎ 岩間隆太③ 決勝第 2 位 東北大会出場
	女子ダブルス 境③・鈴木悠② 県大会出場		男子100m背泳ぎ 岩間隆太③ 決勝第 2 位 東北大会出場
	宮城県高等学校総合体育大会卓球競技 (5/28~6/6)		女子200m個人メドレー 阿部未梨③ 決勝第 3 位 東北大会出場
	男子学校対抗 1 回戦 仙台二 1 - 3 岩ヶ崎 惜敗		男子200m個人メドレー 金山 慎③ 決勝第 6 位 東北大会出場
	女子学校対抗 2 回戦 仙台二 3 - 1 石巻西 3 回戦 仙台二 0 - 3 仙台南 惜敗		男子400m個人メドレー 金山 慎③ 決勝第 4 位 東北大会出場
	男子シングルス 川村壮② 準々決勝敗退 県ベスト 8 東北大会出場		男子4×100mフリーリレー 岩間隆太③ 中嶋陸海② 金山 慎③ 高橋俊太郎① 決勝第 5 位 東北大会出場
	渡邊③, 今岡③, 薄木③, 小杉① 1 回戦敗退		男子4×100mメドレーリレー 高橋俊太郎① 金山 慎③ 岩間隆太③ 中嶋陸海② 決勝第 5 位 東北大会出場
	男子ダブルス 薄木③・川村壮② 2 回戦敗退 県ベスト 16		男子4×200mフリーリレー 中嶋陸海② 金山 慎③ 高橋俊太郎① 岩間隆太③ 決勝第 4 位 東北大会出場
	女子シングルス 鈴木悠② 県ベスト 16 東北大会代表決定 勝利 東北大会出場		学校対抗 男子第 4 位入賞
	境③, 木下② 2 回戦敗退		第70回東北高等学校選手権水泳(水球)競技大会 (7/9~7/3)
	石井③ 1 回戦敗退		団体 第3位
	女子ダブルス 境③・鈴木悠② 2 回戦敗退 県ベスト 16		第71回宮城県高等学校総合体育大会水泳(水球)競技大会 (7/17)
	第76回東北高等学校卓球選手権大会 (6/24~6/26)		仙台二10-18柴田 準優勝
	男子シングルス 川村壮② 1 回戦敗退		第70回東北高等学校選手権水泳競技大会 (7/19~7/21)
	女子シングルス 鈴木悠② 1 回戦敗退		女子200m平泳ぎ 阿部未梨③ 予選敗退(15位)
	2022年度国民体育大会卓球競技宮城県予選会 (7/14~7/18)		男子400m個人メドレー 金山 慎③ 予選敗退(10位)
	男子シングルス 川村壮② 第 3 位 東北総体出場		男子200m背泳ぎ 岩間隆太③ 決勝第 9 位
	鈴木亮②, 半田② 4 回戦敗退		女子200m個人メドレー 阿部未梨③ 予選敗退(23位)
	小杉②, 今本②, 飯田② 3 回戦敗退		男子200m個人メドレー 金山 慎③ 予選敗退(15位)
	齊②, 野田②, 加藤②, 栗林①, 柴田①, 保坂① 2 回戦敗退		男子100m自由形 高橋俊太郎① 決勝第 3 位
	長谷川②, 高橋①, 岩崎①, 遠藤①, 田澤①, 高橋① 1 回戦敗退		男子100m背泳ぎ 岩間隆太③ 決勝第 5 位
	女子シングルス 鈴木悠② 5 回戦敗退		男子4×100mフリーリレー 岩間隆太③ 中嶋陸海② 金山 慎③ 高橋俊太郎① 予選敗退 (13位)
	岩間② 3 回戦敗退		男子4×100mメドレーリレー 岩間隆太③ 金山 慎③ 上原伊人③ 高橋俊太郎① 予選敗退 (10位)
	木下②, 川村真②, 工藤②, 寺崎① 2 回戦敗退		男子4×200mフリーリレー 中嶋陸海② 金山 慎③ 高橋俊太郎① 岩間隆太③ 予選敗退 (14位)
	羽柴②, 畑中① 1 回戦敗退		第77回国民体育大会宮城県予選会水泳競技会 (7/30)
	全日本卓球選手権ジュニアの部仙塩地区予選 (8/12~8/13)		少年男子A 200m背泳ぎ 岩間 隆太③ 第 1 位
	男子シングルス 鈴木亮②, 半田② 県大会出場決定		第90回日本高等学校選手権水泳競技大会 (8/15~8/18)
	女子シングルス 木下②, 工藤② 県大会出場		男子100m自由形 高橋俊太郎 予選敗退 (39位)
全日本卓球選手権ジュニアの部宮城県予選会 (9/10~9/11)	令和 4 年度宮城県新人水泳競技大会 (9/1~9/3)		
男子シングルス 川村壮② ベスト 8	男子100m自由形 高橋俊太郎① 決勝第 1 位 東北新人大会出場		
鈴木亮② 3 回戦敗退	男子100m背泳ぎ 高橋俊太郎① 決勝第 1 位 東北新人大会出場		
半田② 1 回戦敗退	女子50m自由形 宮地和月② 決勝第 8 位		
女子シングルス 鈴木悠② 4 回戦敗退	女子100mバタフライ 遠藤亜南① タイム決勝第 7 位		
木下②, 工藤② 2 回戦敗退	学校対抗 男子第 7 位		
新人卓球大会仙塩地区予選会 (10/13~10/16)	第30回東北高等学校新人水泳競技大会 (10/28~10/29)		
男子学校対抗	男子100m自由形 高橋俊太郎① 決勝第 1 位		
予選トーナメント 1 回戦 仙台二 3 - 0 宮城一	男子100m背泳ぎ 高橋俊太郎① 決勝第 6 位		
2 回戦 仙台二 1 - 3 仙台育英	第70回東北高等学校選手権水泳(水球)競技大会 (7/9~7/3)		
第 1 次敗者復活戦 仙台二 3 - 0 泉館山 県大会出場	団体 第 3 位		
女子学校対抗	第71回宮城県高等学校総合体育大会水泳(水球)競技大会 (7/17)		
予選トーナメント 2 回戦 仙台二 3 - 0 泉館山 県大会出場	仙台二10-18柴田 準優勝		
決勝トーナメント 2 回戦 仙台二 0 - 3 聖ウルスラ	宮城県高等学校総合体育大会新人戦 令和 5 年 2 月下旬実施予定		
男子シングルス 鈴木亮② 川村壮② 小杉② 県大会出場決定	宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選会 (5/8~5/15)		
女子シングルス 鈴木悠② 工藤② 岩間② 川村真② 岩間② 県大会出場決定	男子学校対抗		
宮城県新人卓球大会 (11/4~11/8)	予選トーナメント 1 回戦 仙台二 3 - 0 宮城一 2 回戦 仙台二 3 - 0 仙台向山 県大会出場決定		
男子学校対抗 2 回戦 仙台二 3 - 1 県工業	決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 2 - 3 宮城工 惜敗		
3 回戦 仙台二 3 - 0 富谷			
4 回戦 仙台二 0 - 東北 ベスト 8			
女子学校対抗 2 回戦 仙台二 3 - 0 古川黎明			
3 回戦 仙台二 3 - 0 仙台商			
4 回戦 仙台二 2 - 3 仙台二華 ベスト 8			
男子シングルス 川村② 優勝			
鈴木亮② 小杉② 4 回戦敗退 ベスト 32			
女子シングルス 鈴木悠② 5 回戦敗退 ベスト 16			
工藤② 3 回戦敗退			
岩間② 川村真② 2 回戦敗退			

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)		
剣 道 部	女子団体予選リーグ 仙台二 2 - 2 宮城第一 仙台二 2 - 1 聖ウルスラ 予選リーグ 2 位敗退 男子個人戦 日山遙希 3 回戦敗退 工藤周大 3 回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 1 回戦敗退 尾形有里菜 2 回戦敗退 第77回国民体育大会剣道競技宮城県予選会 (7/6) 男子個人戦 日山遙希 3 回戦敗退 工藤周大 1 回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 3 回戦敗退 尾形有里菜 1 回戦敗退 令和 4 年度宮城県高校連剣道専門部仙塩支部新人剣道大会 (8/20) 男子団体戦 1 回戦 仙台二 - 仙台三 不戦勝 2 回戦 仙台二 0 - 4 仙台一 女子団体戦 1 回戦 仙台二 2 - 2 明成 本数勝 2 回戦 仙台二 0 - 3 仙台育英 第68回宮城県高等学校剣道新人大会 (11/11~11/13) 男子団体予選リーグ 仙台二 4 - 0 仙台工業 仙台二 5 - 0 泉館山 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 1 - 2 仙台一高 ベスト 16 女子団体予選リーグ 仙台二 2 - 2 東陵 仙台二 3 - 1 仙台大明成 予選リーグ 2 位敗退 男子個人戦 日山遙希 準々決勝敗退ベスト 8 工藤周大 1 回戦敗退 女子個人戦 佐藤歩果 2 回戦敗退 尾形有里菜 1 回戦敗退	卓 球 部	男子ダブルス 鈴木②・川村② 3 回戦敗退 ベスト 8 令和 4 年度 全国選抜宮城県予選 (12/18) 男子シングルス 小杉② 1 回戦敗退 鈴木亮② 4 回戦敗退 ベスト 8 女子シングルス 工藤② 3 回戦敗退 鈴木悠② 6 回戦敗退 ベスト 4	令和 4 年度第71回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (6/3~6/6) 女子個人サーブル 第 2 位 小山穂依 第 4 位 佐藤撫子 女子個人エペ 第 2 位 高橋 葵 第60回東北高等学校フェンシング選手権大会 (6/24~6/26) 女子個人サーブル 第 2 位 佐藤撫子 第 7 位 小山穂依 女子個人エペ 予選プール敗退 高橋 葵 第77回国民体育大会フェンシング競技宮城県代表選手選考会 (7/9) 少年女子 第 3 位 佐藤撫子 令和 4 年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会 (8/4~8/6) 女子個人エペ 高橋 葵 予選プール 2 勝 2 敗 (36位シード), トーナメント 1 回戦敗退 女子個人サーブル 小山穂依 予選プール 3 勝 1 敗 (16位シード), トーナメント 2 回戦敗退 令和 4 年度宮城県民体育大会フェンシング競技 (8/13~8/14) 女子個人ジュニア 第 4 位 岩崎優衣 令和 4 年度国民体育大会東北ブロック大会フェンシング競技 (8/19~8/21) 少年女子 優勝 宮城県チーム (大川口美優) 令和 4 年度仙台市民体育大会フェンシング競技 (10/1) 少年女子シニア 優勝 佐藤撫子 少年女子ジュニア 第 5 位 岩崎優衣 第77回国民体育大会フェンシング競技 (10/3~10/4) 少年女子 第 4 位 宮城県チーム (大川口美優) 令和 4 年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (10/27~10/29) 女子個人フルール 第 3 位 佐藤撫子 第 6 位 大川口美優 女子学校対抗フルール 第 3 位 (佐藤撫子 大川口美優 高橋 葵 片倉愛里彩 船橋美結) 令和 4 年度宮城県高等学校体育連盟フェンシング専門部功労賞 (10/27) 新原稀乃佳 小山穂依 第47回全国高等学校選抜フェンシング選手権大会宮城県予選会 (12/23~12/24) 女子フルール 第 2 位 (佐藤撫子 大川口美優 高橋 葵 三宅舞花 船橋美結) 女子エペ 優勝 (高橋葵 三宅舞花 岩崎優衣 吉川凜子 齋藤千花) 女子サーブル 第 3 位 (佐藤撫子 大川口美優 奥山浜花 片倉愛里彩 菅原成美) 第30回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会 (1/5~1/7) 出場 大川口美優 (ジュニア女子フルール) 高橋 葵 (ジュニア女子エペ, カデ女子エペ) 佐藤撫子 (ジュニア女子サーブル) 岩崎優衣 (カデ女子エペ) 令和 4 年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (1/13~1/14) 少年女子フルール 第 2 位 佐藤撫子 第 7 位 大川口美優 少年女子エペ 優勝 岩崎優衣 第 2 位 高橋 葵 少年女子サーブル 優勝 佐藤撫子 第 4 位 菅原成美 第47回全国高等学校選抜フェンシング選手権大会北海道東北予選会 (1/20~1/21) 女子エペ 第 3 位 (高橋葵 三宅舞花 岩崎優衣 吉川凜子 齋藤千花)	
	柔 道 部		第71回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技 (6/4~6/6) 男子個人戦 66kg級 深見 豪 2 回戦敗退 ベスト 16 90kg級 深見 仁 2 回戦敗退 ベスト 16 女子個人戦 52kg級 大内玖瑠海 2 回戦敗退 ベスト 16 石井 琴 2 回戦敗退 ベスト 16 渡邊那美 2 回戦 ベスト 8 第72回宮城県高等学校柔道新人大会 兼 第45回全国高等学校柔道選手権大会宮城県一次予選大会 (11/5~11/6) 男子個人戦 81kg級 深見 仁 第 3 位 女子個人戦 52kg級 渡邊那美 初戦敗退 第45回全国高等学校柔道選手権大会宮城県予選大会 (12/17~12/19) 男子個人戦 81kg級 深見 仁 ベスト 8 女子個人戦 52kg級 渡邊那美 初戦敗退	フェンシング部	女子フルール 第 2 位 (佐藤撫子 大川口美優 高橋 葵 三宅舞花 船橋美結) 女子エペ 優勝 (高橋葵 三宅舞花 岩崎優衣 吉川凜子 齋藤千花) 女子サーブル 第 3 位 (佐藤撫子 大川口美優 奥山浜花 片倉愛里彩 菅原成美) 第30回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会 (1/5~1/7) 出場 大川口美優 (ジュニア女子フルール) 高橋 葵 (ジュニア女子エペ, カデ女子エペ) 佐藤撫子 (ジュニア女子サーブル) 岩崎優衣 (カデ女子エペ) 令和 4 年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (1/13~1/14) 少年女子フルール 第 2 位 佐藤撫子 第 7 位 大川口美優 少年女子エペ 優勝 岩崎優衣 第 2 位 高橋 葵 少年女子サーブル 優勝 佐藤撫子 第 4 位 菅原成美 第47回全国高等学校選抜フェンシング選手権大会北海道東北予選会 (1/20~1/21) 女子エペ 第 3 位 (高橋葵 三宅舞花 岩崎優衣 吉川凜子 齋藤千花)
	弓 道 部		令和 4 年度仙塩釜地区高等学校春季弓道大会 (5/19~5/20) 男子個人 工藤稚隼, 小湊涼央, 本田駿希, 高柳匠吾, 田口敬崇, 鳥羽遥太 (県大会出場権獲得) 女子個人 菅原あずさ, 茄子川花香, 福田光梨, 伊藤瑠子 (県大会出場権獲得) 第71回宮城県高等学校体育大会弓道競技 (6/4~6/6) 男子団体 (工藤稚隼, 赤間春樹, 田口敬崇, 小湊涼央, 鳥羽遥太, 奥崎現基, 渡邊鈴乃輔) 2 次予選 女子団体 (松尾悠由, 竹内美優, 茄子川花香, 福田光梨, 阿部奈々未, 榎真侑子, 笠羽羽子) 1 次予選 男子個人 小湊涼央, 高柳匠吾, 田口敬崇 (1 次予選), 工藤稚隼 (2 次予選) 本田駿希, 鳥羽遥太 (準決勝) 女子個人 茄子川花香, 福田光梨, 伊藤瑠子 (1 次予選) 菅原あずさ (準決勝) 令和 4 年度仙塩地区高等学校秋季弓道大会 (10/18~10/19) 男子団体 仙台二高 A (鳥羽遥太, 武山悠斗, 赤間春樹) 優勝 男子個人 杭全海晴 第 3 位 赤間春樹 第 5 位 鳥羽遥太, 赤間春樹, 八重樫淳之介, 長濱亮太, 田口敬崇, 内海景太, 杭全海晴, 大沼壮一郎 (県大会出場権獲得) 女子個人 赤塚柚葉, 坂本有美佳, 茄子川花香 (県大会出場権獲得) 令和 4 年度宮城県高等学校新人大会弓道競技 (10/31~11/2) 男子団体 (鳥羽遥太, 杭全海晴, 田口敬崇, 赤間春樹, 八重樫淳之介, 内海景太) 第 4 位 (射道優秀賞) 女子団体 (赤塚柚葉, 坂本有美佳, 茄子川花香, 霜鳥可歩, 矢作美陽, 稲村朱莉) 予選敗退 男子個人 鳥羽遥太 第 6 位 杭全海晴 (準決勝) 田口敬崇, 八重樫淳之介, 長濱亮太, 内海景太, 大沼壮一郎 (1 次予選) 女子個人 赤塚柚葉, 坂本有美佳 (1 次予選)	剣 道 部	男子団体予選リーグ 仙台二 4 - 0 仙台工業 仙台二 0 - 1 仙台一 予選リーグ敗退 女子団体予選リーグ 仙台二 1 - 3 多賀城 仙台二 0 - 3 生文大 予選リーグ敗退 第71回宮城県高等学校総合体育大会剣道競技 (6/4~6/6) 男子団体予選リーグ 仙台二 5 - 0 古川学園 仙台二 3 - 1 東北 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 2 回戦 仙台二 0 - 4 仙台育英 ベスト 16



部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
そ の 他	軟式野球 令和 4 年度仙台一高・仙台二高軟式野球定期戦 (5/5) 仙台二 - 4 仙台一 (延長11回)	弓 道 部	令和 4 年度宮城県高等学校体育連盟弓道専門部優秀選手 工藤雅隼, 奥崎現基, 木村玲音, 小湊涼央, 渡邊皓乃輔, 佐藤史明, 本田駿希
	バレーボール 令和 4 年度 仙台一高・仙台二高 三部定期戦 (5/21) 男子: 仙台二 - 3 仙台一 女子: 仙台二 1 - 2 仙台一 令和 4 年度 (第43回) 仙台市民総体バレーボール競技高等学校の部 (11/12~11/13) 男子: 予選リーグ 仙台二 2 - 0 仙台西 仙台二 2 - 0 泉館山 仙台二 2 - 0 仙台南 決勝トーナメント 仙台二 2 - 0 仙台 仙台二 0 - 2 仙台大明成 惜敗 女子: 予選リーグ 仙台二 2 - 0 宮城広瀬 仙台二 1 - 2 泉館山 仙台二 0 - 2 仙台大明成	山 岳 部	宮城県高等学校総合体育大会登山大会 (6/4~6/6) 男子 3 位 宮城県高等学校体育連盟登山専門部新人大会 (10/7~10/9) 男子 6 位 女子 5 位
	柔道 第133回仙塩地区高等学校柔道大会 (4/24) 男女個人戦 初戦敗退 第134回仙塩地区高等学校柔道大会 (10/7) 男子団体戦 (混合チーム・仙台一, 多賀城, 仙台工業, 仙台西) ベスト 8 男子個人戦 81kg級 深見仁 第 3 位 女子個人戦 52kg級 渡邊那美 初戦敗退 第35回大久康杯 宮城県公立高等学校柔道大会 女子体重別 柔道大会 (10/9) 男子団体戦 (混合チーム・黒川) ベスト 8 男子個人戦 1 年生の部 深見仁 ベスト 8 女子個人戦 60kg以下級 渡邊那美 初戦敗退 第33回東北大学柔道部青葉杯優勝大会 (1/29) 男子団体戦 盛岡第一・新庄北・仙台二合同チーム 予選リーグ敗退 女子個人戦 渡邊那美 準優勝 優秀選手賞 深見 仁	ヨ ッ ト 部	令和 4 年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技(6/4~6/5) 女子コンバインド 第 3 位 女子レーザーラジアル級 優勝 令和 4 年度第62回東北高等学校ヨット選手権大会 (6/17~6/19) 女子コンバインド 第 5 位 女子レーザーラジアル級 優勝 ※全国高校総体出場権獲得 第77回国民体育大会セーリング競技会予選会 (7/23~7/24) 少年女子レーザーラジアル級 優勝 ※第77回国民体育大会セーリング競技出場権獲得 令和 4 年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技 (8/12~8/16) 女子レーザーラジアル級 第14位 第77回国民体育大会セーリング競技会 (10/2~10/5) 少年女子レーザーラジアル級 第19位 令和 4 年度宮城県高等学校ヨット新人大会 (10/22~10/23) 女子420級 第 5 位
	ハンドボール 令和 4 年度仙台市民総体ハンドボール競技 (8/9~8/10) 予選リーグ: 仙台二13- 7 仙台向山 仙台二17- 3 仙台 仙台二10- 6 仙台東 決勝トーナメント: 1 回戦 仙台二16- 5 仙台南 準決勝 仙台二 9 - 11 聖和学園 【第 3 位】	ス キ ー 部	第72回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 (1/13~1/15) 男子ジャイアントスラローム (GS) 阿部亮太 第 7 位 女子ジャイアントスラローム (GS) 中西美結 第 2 位, 壽 彩寧 第 6 位 男子スラローム (SL) 阿部亮太 途中棄権 女子スラローム (SL) 中西美結 第 3 位, 壽 彩寧 第 5 位 女子総合 (団体) 第 2 位 特別国民体育大会冬季大会スキー競技会宮城県予選会 (1/20~1/22) 少年男子 (GS) 阿部亮太 第16位 少年女子 (GS) 中西美結 第 2 位, 壽 彩寧 第 8 位 第45回東北高等学校スキー選手権大会 (1/24~1/26) 男子GS 阿部亮太 第68位 女子GS 中西美結 途中棄権, 壽 彩寧 途中棄権 男子SL 阿部亮太 第69位 (あじらカップとしての記録) 女子SL 中西美結 第27位, 壽 彩寧 第31位 令和 4 年度全国高等学校総合体育大会 第72回全国高等学校スキー大会 (2/7~2/10) 女子GS 中西美結 途中棄権 女子SL 中西美結 第69位 特別国民体育大会冬季大会 スキー競技会 (2/17~2/19) 少年女子 (GS) 中西美結 県代表として出場
	弓道 第59回仙台市民総合体育大会弓道競技 (8/21) 男子個人 杭全海晴 第 6 位		
	陸上競技 第37回宮城県女子駅伝競走大会 (1/28) 第 6 位 東海林雪乃 佐藤妃奈乃 安藤ななみ 佐藤楓花 菅原美南子		

### 部活動の記録 / 学芸部成績

部 名	成 績
放 送 部	第69回NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会 (6/17) アナウンス部門優秀賞 小山奈々 第69回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 (7/28) 準々決勝進出 小山奈々 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会放送部門 (8/3~8/4) オーディオメッセージ部門出場 第41回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会 (11/9) アナウンス部門 小山奈々 優秀賞 同じく角道吾子 優良賞 朗読部門 佐藤遥花 奨励賞 第26回東北高等学校放送コンテスト青森大会 (2/11~2/12) アナウンス部門 小山奈々, 角道吾子 出場
美 術 部	第72回仙台市内高等学校美術展 (7/7~7/10) 優秀賞 安倍麻衣子 第75回宮城県高等学校美術展覧会 (1/26~1/29) 奨励賞 加藤志歩 奨励賞 吉川美希
写 真 部	第29回宮城県高等学校写真展 (11/9~11/13) 入選 佐藤和奏②, 曾根悠加①
生 物 部	第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11/4) 生物部門 優秀賞「納豆菌による植物生育への影響について」 2年 植田郁 鈴木ちか 渡邊皓介
物 理 部	第46回全国高等学校総合文化祭「とくきょう総文2022」自然科学部門研究発表物理部門 (8/2~8/4) 研究発表物理部門 後藤 柊 鶴田結 第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11/4) 物理部門 部会長賞「跳ね返り係数と物体の厚さとの関係性」 2年 伊藤義匡 1年 餘目拓磨 1年 富田さくら

部 名	成 績
化 学 部	第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11/4) 化学部門 優秀賞「酸化チタンの光触媒作用の効率化に関する研究」 2年 土井奏汰 高橋 煌 都築陽人 優秀賞「ムベンパ効果が観測される条件」 1年 大場俊 島山大晴 佐竹航太郎 佐藤嵩大 第46回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文2022」自然科学部門研究発表化学部門 (8/2~8/4) 研究発表化学部門 3年 熊澤康太郎
地 学 部	第75回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11/4) 地学部門 優秀賞「名取川水系と深沼海岸の砂の分析」 1年 佐藤瑞穂 伊藤愛 遠藤高治 佐々木珠美 佐々木悠誠 佐藤尊仁
吹 奏 楽 部	第37回宮城県管打楽器ソロコンテスト (6/5) オーボエ 秋山泰輝 金賞 第65回宮城県吹奏楽コンクール予選仙台青葉・泉地区大会 (7/17) 高等学校の部 銀賞 第65回宮城県吹奏楽コンクール (7/29) 高等学校の部 銀賞 第56回宮城県アンサンブルコンテスト予選仙台青葉地区大会 (12/17) フルート四重奏 金賞, クラリネット八重奏 金賞 (県大会出場), サキソフォン六重奏 金賞, 金管八重奏 金賞 (県大会出場) 第56回宮城県アンサンブルコンテスト (1/15) クラリネット八重奏 銅賞, 金管八重奏 銅賞
合 唱 部	第89回NHK全国学校音楽コンクール宮城県大会 (8/21) 銅賞 第34回宮城県合唱アンサンブルコンテスト (12/17) 銀賞
将 棋 部	第58回全国高等学校将棋選手権宮城県予選大会 (全国総文祭将棋部門予選会) (5/16~5/17) 男子団体 (及川, 三品, 小山) 第2位 男子個人A級 第3位 及川武悠 第5位 千葉昂誉 男子B級 第5位 井村和馬 女子 第3位 岡崎理倅 第39回宮城県高等学校将棋新人大会 (11/3) 男子A級 第2位 及川武悠 女子 第3位 岡崎理倅 第23回東北地区高等学校将棋新人大会 (12/17) 男子 第13位 及川武悠 第31回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 (2/10~2/11) 男子 及川武悠 予選1勝2敗
囲 碁 部	第46回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文2022」囲碁部門代表決定戦 (4/24) 男子個人代表内定 三浦 颯② 第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会宮城県大会 (6/25~6/27) 男子個人 優勝 千葉和真 (全国大会宮城県代表) 第3位 三浦 颯② 団体 優勝 宮城県仙台第二高等学校 (全国大会宮城県代表) 第46回全国高等学校総合文化祭「とうきょう総文2022」囲碁部門 (8/1~8/2) 男子個人戦 三浦 颯② 3-3 第25位 第46回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 (8/3~8/4) 男子団体戦 (三浦 颯②, 千葉和真①, 二階堂史晟①, 塚原志哉②) 優勝 男子個人戦 千葉和真① 予選2-1 第23回宮城県高等学校囲碁九路盤大会 (第29回宮城県高等学校総合文化祭を兼ねる) (10/14) 第1位 三浦 颯② 第2位 千葉和真① 第3位 二階堂史晟① 第4位 塚原志哉② 第5位 宇田川雄基② 第36回東北地区高等学校囲碁選手権大会兼第17回全国高等学校囲碁選抜大会東北地区予選大会 (11/11~11/12) 男子団体 宮城県代表 (大将: 千葉和真①, 副将: 三浦 颯②) 5-0 優勝 (仙台第二高校として全国大会団体戦出場内定) 女子団体 宮城県代表 (副将: 二井真理①) 5-0 優勝 (全国大会出場校は後日決定) 千葉和真① 男子大将戦第1位 (全国大会個人戦の部出場内定) 三浦 颯② 男子副将戦第1位 (全国大会 9 路盤戦の部出場内定) 二井真理② 女子副将戦第1位 (全国大会 9 路盤の部出場内定) 千葉和真① (優秀選手), 三浦 颯② (優秀選手), 二井真理① (優秀選手) 第17回全国高等学校囲碁選抜大会女子団体代表決定戦 (12/5) 女子団体 仙台二2-1 宮城一 (仙台第二高校として全国大会団体戦出場内定) 第40回宮城県高等学校囲碁新人大会 (1/28) 第1位 千葉和真① 令和4年度 高等学校文化連盟賞 (2/9) 囲碁部門 個人 三浦 颯② 団体 三浦 颯②, 千葉和真①, 二階堂史晟①, 塚原志哉②, 千葉和真①, 三浦 颯② 団体 二井真理①
書 道 部	宮城県高等学校書道展覧会 (12/6~12/11) 推薦1名 特選4名 金賞4名
そ の 他	美術 第83回河北美術展 (5/11~5/17) 洋画部門B 入選 吉川美希 第16回東北の建築を描く展 (10/28~11/8) 高校の部 学長賞 吉川美希 書道 第41回全国高校刻字展 (1/24) 優秀賞2名 秀作賞2名

# 定期戦

## ○第78回野球定期戦



仙台二高・仙台一高野球定期戦が薄日のさす中五月十三日楽天モバイルパーク宮城で開催された。試合前球場前広場で各校の応援合戦があり大いに盛り上がった。高橋賢仙台二高校長による始球式があり13:00試合開始になった。二高は先発湯浅君リリーフ本田君一高は三瓶君が一人で投げ息詰まる投手戦となった。8回表一高に決勝のタイムリー2塁打が出て二高は惜しくも1対0で敗戦した。二高も粘りを見せたが一歩及ばなかった。

四年ぶりの通常開催となりス



ランドには在校生や卒業生ら五〇〇〇人近くが詰めかけ大きな声援と熱気に包まれた。一塁側に陣取った二高応援団は統制のとれた応援で選手を鼓舞した。試合終了後両校応援団は相手の健闘を称えてエールの交換をおこない清々しい定期戦になった。

通算成績は二高の32勝35敗9分け。(小野寺満明 記)

硬式野球定期戦は、毎年五月の第二土曜日に開催されます。

## ○軟式野球定期戦の戦績

随所に好プレーが見られる試合であったが、一高打線に火が付き、準優勝に終わりました。

2-10 準優勝



## ○令和5年度

### 三部定期戦の戦績

今年は男子バスケと男子バレーが接戦を制して優勝を成し遂げました。各会場では、応援も盛り上がり、白熱した試合が繰り広げられました。

### 試合結果

男子バスケ	60-58	優 勝
女子バスケ	34-100	準優勝
男子バレー	3-2	優 勝
女子バレー	0-2	準優勝
柔道	1敗2分け	準優勝



## 二高・一高同窓会 ゴルフ対抗戦

○仙台二高一高ゴルフ対抗戦開催  
今年の仙台二高一高ゴルフ対抗戦は五月二十一日富谷カントリークラブで開催された。

両校合わせて五十九名が参加して晴天の中ゴルフの腕を競った。各校上位十名のグロススコアの結果857対863で若手精鋭を集めた仙台一高が勝利した。通算成績は仙台二高の4勝3敗となった。

表彰式では今年の幹事校仙台一高19回星康博さん仙台二高17回佐藤裕洋同窓会副会長の挨拶があり和気あいあいの中終了した。来年以降は両校で実行委員会を作り運営していくことになった。尚日程は野球定期戦の次週日曜日開催。

小野寺満明(高23回)

### 叙勲受章者

- 瑞宝中綬章 平 朝彦殿(高17回)
- 瑞宝小綬章 庄司 恒一殿(高22回)
- 旭日単光章 佐藤久一郎殿(高20回)

会 員 計 報

(令和5年5月分まで)

令和3年	12/22	12/16	11/6	10/29	10/1	1/18	令和2年	12/19	10/15	令和元年	3/17	2/17	平成31年	10/6	平成30年	4/8	平成29年	12/28	11/8	平成28年	1/9	平成27年	1/14	平成24年	1/13	平成13年					
	相澤	加藤	村山	永井	茂手木	山形		米山	堀籠		荒木	佐々門	大友	大友	酒井	高橋	菊谷	名取	三浦	早坂	寛殿										
	司殿	邦昭殿	利彰殿	信殿	順一殿	嘉徳殿		晴夫殿	章史殿		和之殿	勉殿	芳喜殿	芳喜殿	岑雄殿	照殿	輝久殿	康之殿	憲和殿	寛殿											
	高40回	中45回	高10回	高4回	高6回	高10回		中44回	高2回		高26回	高14回	高14回	高14回	高11回	高1回	高48回	高3回	高16回	中46回											
	2/6	2/2	2/2	1/31	1/31	1/30		1/17	1/10		1/5	1	令和4年	12/22	11/22	11/16	11/15	10/23	10/17	10/12	9/14	8	7/19	7/14	7/6	7/6	6/11	3/13			
	上山	真山	山下	安藤繁	鈴木	熊谷		水谷	平山		加瀬	島貫	相賀	升澤	今井	高橋	海鋒	古橋	池田	桜井	阿刀田	山中	佐藤	内山	金友	佐藤	吉田	小柳			
	訓由殿	良樹殿	靖殿	二殿	忠夫殿	仁志殿		恒雄殿	長篤殿		実殿	陸殿	柏雄殿	友勝殿	邦男殿	三夫殿	博茂殿	進殿	彬殿	俊英殿	光紹殿	滿敬殿	耕敏殿	晋殿	宣二殿	昭彦殿	憲世殿	隆一殿			
	高7回	高10回	高10回	高3回	中46回	高31回		高11回	高10回		中42回	高3回	高6回	高1回	高13回	高9回	高9回	高11回	高2回	高11回	高14回	高2回	高9回	高6回	高6回	高13回	高13回	高16回			
	5/31	5/27	5/23	5/16	5/9	5/1		4/28	4/20		4/18	4/14	4/10	4/6	3/27	3/25	3/25	3/17	3/16	3/15	3/10	3/9	3/5	3/4	3/2	2/23	2/22	2/20	2/16	2/14	2/10
	鎌田	須藤	成田	今野	今	長谷川		高橋	矢島		森川	中里	小野寺	月田	天江孝	佐々木	斎藤	相沢	八木	齊藤	及川	芦名	春日	遠藤	高橋	熊谷	山下	石垣	市川	山岸	小野寺
	悠紀雄殿	好敏殿	正義殿	昭義殿	昭磨殿	通宏殿		正孝殿	誠一殿		豊殿	宏殿	文和殿	文和殿	太郎殿	邦視殿	正殿	進殿	昭二殿	輝信殿	浩殿	毅殿	完和殿	栄一殿	清治殿	憲一殿	靖殿	秀樹殿	芳郎殿	俊一殿	俱康殿
	高3回	中46回	高3回	中45回	高1回	高11回		高14回	高3回		高22回	高2回	高4回	高4回	高9回	高8回	高6回	高11回	中45回	高8回	高8回	高4回	高13回	高6回	高10回	高14回	高8回	高8回	高4回	高5回	
	10/25	10/22	10/13	10/11	9/27	9/23		9/19	9/14		9/12	9/8	8/25	8/16	8/11	8/8	8/6	8/5	8/4	8/3	8/3	7/26	7/21	7/13	7/5	7/3	6/23	6/21	6/21	6/11	
	菅原	井浦	高橋	川上	芳賀	高柳		佐藤	福村		佐藤	佐々木	青木	竹谷	専田	水上	平	菅原	原	岩間	長沼	益田	一力	宮崎	鈴木	星	佐々木	赤間	先崎	森	今野
	格朗殿	瑞彰殿	和行殿	喜和殿	武殿	瞭三殿		憲一殿	芳雄殿		正則殿	正直殿	義信殿	勝殿	真久殿	澄殿	節夫殿	仁殿	敏彦殿	輝彦殿	達夫殿	芳幸殿	健殿	秀毅殿	隆一郎殿	昌彦殿	文夫殿	重雄殿	邦夫殿	英男殿	
	高3回	高4回	高14回	高18回	高11回	高4回		高15回	中41回		高12回	高15回	中45回	高22回	高3回	中40回	高4回	高2回	高29回	高11回	中44回	高3回	高3回	高23回	高8回	高31回	高8回	高13回	高21回	高2回	
		館澤	長谷	森	山田	沼倉		升沢	橋本		高橋	大塚	永井	死亡日不明	5/15	4/25	4/21	3/27	3/25	3/19	2/28	2/26	2/20	1/18	1/13	令和5年	11/16	11/15	11/9	11	
		貢次殿	恭助殿	宣征殿	洋之殿	紘一殿		輝男殿	敏男殿		活彦殿	信洋殿	文夫殿	孝一殿	久夫殿	剛殿	義之殿	郷已殿	田中	佐々木	小山	横山	洪田	佐藤	宗男殿	公彦殿	敏行殿	箱守	猪俣	正殿	
		高17回	中42回	高14回	高14回	高14回		高14回	高14回		高14回	高6回	中43回	高14回	高3回	高3回	高3回	高3回	高15回	高4回	高36回	高3回	高5回	高5回	高15回	高4回	高7回	高14回	高14回		

## 支部・OB 会連絡先

## ● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	且 英夫 (高20)	且 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA
北海道支部(休会中)			
青森県支部	新山 龍治 (高22)	新山 龍治 (高22)	〒030-0845青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	吉江 信博 (高21)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103盛岡市西松園1-9-3 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高9)	粟野 学 (高26)	〒990-2461山形市旅籠町3丁目2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高8)	大場 時彦 (高31)	福島県郡山市富田町字権現林オオバ工務店 024-961-6500
在京同窓会	上條 努 (高24)	島田 淳 (高33)	東京都新宿区西新宿1-25-1新宿センタービル46階(株)エイジェックグループ 03-3349-8206
東海北陵会	佐山 泰弘 (高10)	岩田 繁 (高19)	〒467-0024 愛知県名古屋瑞穂区春山町15-4 101 090-8868-2372
関西北陵会	鈴木 武 (高20)	田中 聡 (高30)	〒573-0151大阪府枚方市藤阪北町21-1-212 072-857-7651
広島支部(休会中)			
九州北陵会	菅原 俊秀 (高10)	黒田 均 (高36)	〒803-0826福岡県北九州市小倉北区高峰町5-7
四国北陵会	渡邊 安男 (高17)	渡邊 安男 (高17)	〒761-0121香川県高松市牟礼町牟礼370-4 087-845-3295
気仙沼支部(休会中)	調整中	調整中	
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高8)	後藤 宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10石巻グランドホテル気付
加美支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	〒981-4254加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	庄子 文康 (高25)	〒985-0005塩釜市杉の入3-11-1 022-365-6435
黒川支部北陵会(休止中)	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	〒981-3515黒川郡大郷町羽生字原畑27-2 022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10) 芳賀 盛 (高18)	渡辺 和雄 (高21)	〒989-2461岩沼市長岡字上根崎2-3 0223-24-1614
亘理会	手戸 雅己 (高15)	手戸 雅己 (高15)	〒989-2351亘理郡亘理町字五日町60-1 0223-34-1750
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	〒981-1505角田市角田字町65 0224-63-1331
登米・栗原・南三陸支部	日野 宏 (高24)	佐藤 豪 (高21)	〒989-5612栗原市志波姫新熊谷255-1三和電設(株)内 0228-24-7203

## ● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	石川 浩史 (高32)	砂子田 順 (高58)	〒980-8671青葉区国分町3-7-1 080-6002-9329
宮城県庁仙台二高養賢会	正木 毅 (高29)	佐藤 仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1宮城県総務部人事課 022-211-2226
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5大野田小学校 022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)		022-261-5111
宮爾二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	〒982-0252仙台市太白区茂庭台4-23-5 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鶴飼 克明 (高28)	〒982-0802仙台市太白区八木山東2-3-7 hokuryo.dr@gmail.com

## ●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正之 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘 東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	菊地 房雄 (高18)	福田 瑞久 (高22)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-3-1江陽グランドホテル内(福田)	022-267-5111
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-12-12GMビルディング9F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋 康雄 (高21)	佐久間正光 (高21)	〒981-0904仙台市青葉区旭ヶ丘 2-12-14	022-275-9087
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)			
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	庄司 正春 (高21)	丸森亮太郎 (高50)	〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町 2-5	022-223-1221
仙台二高 ラグビー部OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング	高木 一弘 (高22)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町 55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本 丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高 スキー部北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山 7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)			022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	鈴木 亮一 (高23)	宇根岡 篤 (高46)	〒981-3332 富谷市明石台5丁目 36-11	022-218-2875
仙台二高 剣道部OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	手嶋 泰伸 (高54)	〒989-8007 仙台市泉区虹の丘 2-4-13	090-4550-8041
仙台二高 弓道部OB会	弓道部		山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	宍戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山 7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	鈴木 登 (高17)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ 谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町 3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内 澗橋通1番地宮城県仙台第二高等 学校合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺 秀樹 (高56)		
仙台二高 応援団幹部OB会	応援団	千葉 和俊 (高26)	千葉 和俊 (高26)	〒984-0816 仙台市若林区河原町 1-5-15-2100	022-711-0481
二吹会	吹奏楽部 (プラスバンド部)	松永 雄治 (高12)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町 1-1-1-1201	090-4044-1234
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田 2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0803仙台市青葉区国分町 3-9-7-2703	022-222-1720
	体操部	鈴木 孝 (高24)	鈴木 孝 (高24)	〒985-0072 塩釜市小松崎9-27	090-9637-8652

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

※代表者及び事務局が変更になった際は同窓会事務局にご連絡をお願いします。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澗橋通1  
 担当 佐々木恵理 TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686  
 月・水・金 10:00~15:00 Eメール/info@sendainiko-dousoukai.com  
 同窓会ML/nikodousoukai@googlegroups.com(詳しくはp32)

評議員名簿

回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名
中44	石井 敏夫	高18	梅津 珪三	高36	柳 雅裕	高60	柴又 賢史
中45	欠員		前野 文男		首藤 雅浩(住所不明)	高61	泉 聖也
中46	欠員	高19	佐藤 芳博	高37	天江新太郎	高62	添田 敏寛
中47	佐々木一弘		遠藤 謙治		木村 光博	高63	佐久間俊平
高 1	坂田 正雄	高20	半田 賢	高38	飯川 齊		佐藤 葵
高 2	欠員		中島 俊和	高39	日下 開	高64	深松 栞(住所不明)
高 3	吉田 敏樹	高21	内藤 清秀	高40	内田 靖		徳永 航平
高 4	高橋 正道		吉田憲三郎		酒井 紀章	高65	佐渡 恵奈
高 5	安達 剛	高22	菊田 健三	高41	菅沼 恵一		佐藤 泰史
高 6	欠員		熊谷 晴樹		米地 真	高66	坂元 宏司
高 7	菅原 正人	高23	大友 史祥	高42	藤原 伯晋	高67	鈴木 麻優
高 8	高橋 清人		山口 信也		小幡 秀樹		齋藤 樹
高 9	土岐 満夫	高24	沼倉 和彦	高43	渡邊 勝宏	高68	舟生佳奈子(住所不明)
高10	鈴木 文夫		斎 基之		櫻井 一弥		大山 遼
高11	藤野 尚之	高25	原 敏紀	高44	田所 直希	高69	生田目誉也
高12	奥山 隆生	高26	木村 清		渡邊 英俊		尾形 眞美
高13	後藤 潮		角田 哲	高45	花本耕之助(住所不明)	高70	菊地 雅子
高14	相澤美智雄	高27	高橋 芳郎	高46	小野 光利(住所不明)	高71	加藤 広大
高15	石田 武彦		千葉 宏	高47	八谷 豊		阿部 柚佳
高16	四倉 政美	高28	岡崎 正行	高48	武田 力也	高72	小野寺 俊
高17	佐野 伸義		鶴飼 克明		中村 正帆		須田 朱音
	高石 祥二	高29	稲辺 和彦	高49	落合 和希	高73	岡本 和大
	笹氣 光祚		永見 幸久	高50	橘 大介		秋山 愛佳
	米竹 隆	高30	渡邊 善夫	高51	平山 雅史(住所不明)	高74	福田 みちる
	高橋 和男	高31	太田 康裕	高52	欠員		宮崎 ローレンス
	菅野 昭雄	高32	竹田 幸司	高53	栗原 慶太	高75	高橋 慧多
	磐井 裕		伊達 久	高54	三嶋 廣人		小林 彩花
	笹氣光寿郎	高33	松谷 秀則	高55	千葉 祐介(住所不明)		
	近藤 尚武		結城 道広	高56	金森信之介		
	坂本 正憲	高34	千葉 敏彦		杉内 洋亮		
	花坂 登		大泉 義典	高57	京極 自源(住所不明)		
	高橋 賢	高35	今野 明典	高58	相場 峻		
	鎌田 喜光		菊地 徹	高59	蔡 優広		

◆評議員が2名制になっています

平成25年度の総会后から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出していただき、事務局までご一報下さい。また、評議員の方が住所不明で連絡がとれないため、欠員となっている回期があります。

同窓会理事及び会務分担

部 門 及 び 会 務 内 容	氏 名 (卒業回期)
名誉会長	大井 龍司 (高 10 回)
会 長	佐藤 一郎 (高 17 回)
副 会 長 (会計及び総務統括)	佐藤 裕洋 (高 17 回)
副 会 長 (会報統括)	千田 耕一 (高 23 回)
副 会 長 (活性化統括)	小野寺満明 (高 23 回)
理 事 (名簿管理統括)	加藤 幹夫 (高 26 回)
理 事 (広報統括・総務担当)	渡邊 博之 (高 31 回)
理 事 (活性化担当)	横山 政宣 (高 38 回)
理 事 (会報及び活性化担当)	本田 英彦 (高 40 回)
理 事 (総務及び北陵祭担当)	利 大作 (高 41 回)
理 事 (名簿及び同窓会旗担当)	斉藤 雅樹 (高 44 回)
理 事 (総務及び会報担当)	大張 慎悟 (高 48 回)
理 事 (広報及び活性化担当)	中鉢 貴省 (高 48 回)
理 事 (会報担当)	島田 耕平 (高 53 回)
会計理事 (出納及び決算担当)	菊池 祐輝 (高 48 回)
会計監事	榊澤 慶悦 (高 21 回)
会計監事	内藤 喜仁 (高 44 回)
事務局長	横山 佳司 (高 33 回)
事 務 局	佐々木恵理

### 仙台二高同窓会メーリングリスト「再登録」のお願い

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うためにメーリングリストを活用してまいりましたが、管理体制の見直しから、今回新たにリストを再構築する運びとなりました。新規登録の方はもちろん、既にメーリングリストに登録され、DMを受け取られていた会員の皆様におかれましても、大変お手数ではございますが、再度の登録をお願い申し上げます。

< [mail@sendainiko-dousoukai.com](mailto:mail@sendainiko-dousoukai.com) >宛に、

●タイトルを【メーリングリスト登録】

●本文には、会期（又は卒業年）、お名前を記載いただき、送付いただければと思います。

大変お手数をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

### ご活用下さい！同窓会公式サイト（ホームページ）

仙台二高の Web サイト

<http://www.sendainiko-dousoukai.com> のご案内です。

第一に「住所・連絡先変更」コーナーをご活用下さい。卒業当時の住所から転居した方などが簡単に変更登録出来るようになっています。

第二に「同窓会関連 行事予定一覧（支部会・OB会・同期会等も含む）」コーナーにて開催予定などを掲載しております。同窓会の公式行事を初め各支部会やサークルなどのOB会の開催などでもご活用下さい。

同期会の開催案内なども掲載できますので、[info@sendainiko-dousoukai.com](mailto:info@sendainiko-dousoukai.com) まで開催情報をお寄せください。同窓生全体の情報のポータルサイトとして、一層のご活用をお願い致します。

### 二高への交通の便<仙台駅前から>

#### ①お奨め

9 番乗り場 730系統毎時37分発、739系統毎時07分発、乗車時間13分程  
二高・県美術館前下車 料金190円

#### ②遠回り

15番乗り場 839系統毎時26分発（県庁・東北大学病院経由）乗車時間  
30分前後 二高・県美術館前下車 料金190円

#### ③余裕のある時

16番乗り場 るーぶるバス 平日 9 時発30分毎、土日休日20分毎 乗車  
時間40分前後 国際センター駅・県美術館前下車 徒歩 1 分 料金260円

#### ④地下鉄東西線

地下鉄仙台駅乗車 国際センター下車 徒歩 5 ～ 6 分

### 編集後記

会員皆様のご協力のおかげをもちまして、同窓会会報56号を無事発行することができましたことを心より御礼申し上げます。

令和五年に入って例年になく早い桜の開花に驚きながらも、新型コロナウイルスが収束の様子を見せており、世の中も日常を取り戻しつつある感があります。同窓会行事でも入会式を始め、卒業式・入学式ではご父兄も同席しての従来姿で盛大に行われました。

今年度は同窓会活動を活性化させるため、従来行事に加えて新しい企画も試みていますので、同窓会会員の皆様におかれましてもご協力のほどよろしくお願いいたします。

尚、今回年会費納入者名簿は作成せず、寄付者名簿のみ同封しておりますのでご理解をお願いいたします。

千田 耕一（高23回）

### 今春の人事異動

#### ▼転出された先生方▲

遠藤 厚志	教諭（英語）
宮城野高校	教諭
村井 靖雄	教諭（数学）
宮城第一高校	教諭
鈴木 信隆	教諭（国語）
富谷高校	主幹教諭（昇任）
佐々木威芳	教諭（社会）
高校教育課	

#### ▼転入された先生方▲

屋代 広義	総括主幹（事務次長）
貞山高校	事務室長（昇任）
河野さやか	主査
総務部総務事務管理課	主査
鈴木 唯	主事
利府町立しらかし台中学校	主事
西村 渉	非常勤講師
任期満了	
小原三奈子	教諭（英語）
名取高校	教諭

#### ▼退職された職員▲

長谷川 景	教諭（国語）
白石高校	教諭
西澤 崇	教諭（英語）
文部科学省	
軽部圭一郎	教諭（社会）
柴田農林高校	教諭
大内 杏太	教諭（数学）
迫桜高校	教諭
笠石 匠	講師
仙台第三高等学校	講師
佐藤 勉	総括主幹（事務次長）
県図書館	次長

#### ▼再任用された先生方▲

後藤 雄樹	主任主査
保健福祉部障害福祉課	主任主査
岸波 大樹	主事
新規採用	
六戸 祐太	非常勤講師（保健体育）
新規採用12h	
横山 佳司	教諭（英語）
再任用	仙台二高
尾形 敦	教諭（国語）
再任用	仙台二高
村上 悟	教諭（再任用）（英語）
再任用終了	

#### ▼海外派遣▲

麦谷 直久	教諭（数学）
マレーシア派遣	
鈴木 利明	教諭（英語）
手代木章宏	教諭（社会）
尾形 俊賢	教諭（保健体育）
三浦 克彦	教諭（理科）
横山 佳司	教諭（英語）
尾形 敦	教諭（国語）